



# 大阪早稲田倶楽部



たまきはる(環波流)(アクリル画 100号)/揚野 寛(昭43年政経)

2013. summer

vol.168

総会報告：大阪早稲田倶楽部定時総会..... 1	写真部：早稲田スポーツ活躍..... 16・17
記念講演：宝塚音楽学校開校 100 周年..... 2	ハイキング：天保山と渡し船..... 18
ゴルフ：団体も個人も早稲田がV..... 3	ハイキング：宝ヶ池とツツジ..... 19
特別寄稿：京都三弘法と高野山御礼参り..... 4	アラカルト：皆で歌うサロン/自伝出版..... 20
倶楽部祭：にぎやかに倶楽部祭..... 5	アラカルト：ワセジョ立ち上がる/日中語り合い..... 21
食べ歩き：牛窓の牡蠣/福島支援を..... 6	平成25年度役員・理事名簿..... 22・23
経済部会：奈良古墳群散策と工場見学..... 7	特別寄稿：シベリアに眠る英霊は..... 24
Wフォーラム：フェイスブック講演会..... 8	特別寄稿：アッと、とんでアートを..... 25
特別寄稿：観光バスの来る小学校..... 9	校友会：早稲田大学校友会大阪府支部..... 26
アラカルト：レッツテニス/関西演劇を支援..... 10	アラカルト：なぜ俳句は面白いのか/編集後記..... 27
特別寄稿：台湾阿里山の旅..... 11	食べ歩き：穴子に舌鼓..... 28
稲雲会：俳句会一年の歩み..... 12~15	収支決算書/倶楽部活動..... 29



## 早稲田大学校友会会員様【特別ご優待プラン】 期間／2014年7月31日までのご利用

### ご宿泊

- 平日(日～木) 1名様利用1室料金(朝食付) 20,000円(税・サ込)  
2名様利用1室料金(朝食付) 25,000円(税・サ込)  
3名様利用1室料金(朝食付) 32,000円(税・サ込)
  - 金・土・祝前日 1名様利用1室料金(朝食付) 28,000円(税・サ込)  
2名様利用1室料金(朝食付) 40,000円(税・サ込)  
3名様利用1室料金(朝食付) 51,000円(税・サ込)
- [通常] 57,000円～72,000円(2名様利用1室料金)

### ランチ・ディナー (レストラン「ル・クール神戸」または鉄板焼「心」にて)

- ランチ 食事代金(飲料除く) **10%割引**
  - ディナー 食事代金(飲料除く) **15%割引**
- ※ルームサービス、ラウンジ&バーでのご飲食料金は除きます。

### スパ・トリートメント (「ラ・シェール」にて/女性専用)

- スパ利用料金 通常 6,300円(税込) ▶ **優待料金 3,150円(税込)**  
※ご宿泊でのご利用の際は、1,050円(税込)となります。  
※エステご利用の際は、無料となります。(30分のショート&オプションコースは除きます)
- トリートメント料金 **20%割引** ※化粧品等の商品代金は除きます。

### ラ・スイート直営スイーツショップのご贈答品

- スイーツ&ベーカリー「ル・パン神戸北野」のお中元・お歳暮を5万円以上ご用意のお客様へ**10%割引**

### 御婚礼特典

- ラ・スイートご利用券 **10万円分プレゼント** ■ 挙式料**50%割引**  
※40名様以上御招待される挙式・披露宴のご契約に限らせていただきます。

### 御宴席特典

- ご宴席の幹事様へラ・スイートご利用券 **1万円分プレゼント**
- 乾杯用スパークリングワイン1杯をご出席の皆様へ**サービス**  
※20名様以上ご利用の宴席に限らせていただきます。



### ご予約・お問合せ

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド  
HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND

〒650-0042 神戸市中央区波止場町7番2号

Tel 078-371-1111

<http://www.l-s.jp>

ラ・スイート

検索

株式会社ラ・スイート

代表取締役 関 寛之(平成8年 建築卒)



※ご予約時に上記プランご利用の旨をお伝えください。

※ご利用時にお名前を頂戴いたします。  
※年末年始、ゴールデンウィーク、みなとこくべ海上花火大会開催日、お盆、全館貸切日等は除外日とさせていただきます。  
※3名様の場合は和室にて布団セットをご用意いたします。お子様添寝の場合は無料となります。  
※各種プランは割引対象外とさせていただきます。  
※客室タイプはお選びいただけませんが、優先的にアップグレードさせていただきます。  
※満室の際は、ご利用をお断りさせていただく場合がございます。



日本のホテルとしては  
初めてSLHに  
迎えられました。



ミシュランガイド(2011・2012・2013)  
「神戸ホテル部門で最高の評価」を  
3年連続で獲得いたしました。

©MICHELIN 2010・2011・2012

# 大阪早稲田倶楽部定時総会



大阪早稲田倶楽部の平成25年度定時総会が5月16日、大阪新阪急ホテルで開催された。150人が出席し、第一部の講演会では、宝塚音楽学校校長の岩崎文夫氏（昭47年法）が「宝塚音楽学校開校100周年を迎えて」のテーマで、人気の音楽学校の裏話や宝塚歌劇団の魅力、エピソードを話した。

第二部の年次総会では、人見亨会長（昭45年理工）が「仲間が幅広く集い、親睦を図れるのが大阪早稲田倶楽部。今後も活性化させていきたい」とあいさつ。24年度の活動と決算報告、25年度の活動予定や予算などが審議、了承された。25年度の活動計画では、青年部活動の活性化、関西演劇文化研究会やクラシック音楽鑑賞会など新規部会の本格的活動開始、多くの会員に各種行事に参加してもらうためサイレント会員のアクティブ化、ホームページの拡充、校友会支部行事との連携など10項目が挙げられた。

また、倶楽部規約の一部改正も審議、了承された。現在の特別賛助会員を廃止して、新たに総会議決権と理事の就任資格を持つ準会員にシフトすること、校友

でない人の入会には事前審査をするなどの改正。理事改選では、任期2年の新理事37人が選出され、昨年選出の34人と合わせ、理事は71人となった。

総会には来賓として大学本部から藁谷友紀理事、後藤由美子総長室校友連携担当部長、さらに早稲田大阪学園の堀龍児学園長、京都、宝塚など近隣稲門会代表が出席した。

第三部の懇親会では、先輩、後輩の歓談の輪があちこちで広がった。ステージでは大阪稲門グリークラブの男声合唱が披露され、新たに女性会員による大阪早稲田女会が設立されたことが報告された。締めめの校歌斉唱では、ワセジョの女性会員が早速登壇して華やかなエールをきり、喝采を浴びた。



年次総会のあとに開かれた理事会で、6人目の副理事長に小林一則氏（昭55年政経）が選ばれ、事務局長は中西克昌氏（昭53年社学）が退任して和田浩孝氏（平1年教育）が新たに就任することが承認された。

（役員・理事名簿、24年度決算、25年度活動予定などは別頁を参照）

## 想いをかたちに

[www.takenaka.co.jp](http://www.takenaka.co.jp)

 **竹中工務店**

# 宝塚音楽学校開校100周年を迎えて

宝塚音楽学校校長 岩崎 文夫(昭47年法)



宝塚音楽学校は1913年（大正2年）に阪急の創始者・小林一三が創設しました。今年7月15日で創立100周年を迎えます。三越少年音楽隊をモデルに、1期生16人でスタートしました。そしてこの4月に入学したのが101期生40人です。

タカラジェンヌになれるのは音楽学校の卒業生だけですが、これまでに約4,400人を数えます。7月に100周年記念式典をするんですが、この4,400人のうち3人に1人が来てくれることになっています。音楽学校の同期生の絆は強いですね。50年、60年経っても、音楽学校で凝縮した1年、2年を共に過ごしたからではないでしょうか。

全国各地、そして海外からも受験してもらっていますが倍率が高くて現実には厳しい競争となっています。今年は22倍でした。高いときは48倍にもなりました。それでも今年は双子の生徒さんが入ったり、母娘2代というのはもう珍しくもなくなりました。とはいえ、お母さんがタカラジェンヌだったからといって合格できるものでもないの、やはり厳しいと思います。

15歳から18歳まで4回受けられるんですが、夢をかなえようと重ねてチャレンジする生徒さんも多いです。今年も4回目で合格したという生徒が2人います。過去には4回目で合格の生徒でトップになった生

徒もいますから、やはり本人の頑張りでしょうね。

授業は公開していないので、秘密の何とかとか言われますが、カリキュラムはほとんどが実技で、日舞にダンスにバレエに声楽。もう、稽古、稽古の日々です。それでも2年間経験すると、みな成長しています。

女性だけの歌劇団で海外公演でも人気ですが、昭和21年からは男性も採用したことがあるんです。大舞台に立ちたいという男性も多くて。でも舞台を踏むことなく29年にはやめました。小林一三も「男性だけの劇団なら50年も続かんかったやろう」と言っておりました。

さて、私ですが、早稲田を出て阪急電鉄に入った電鉄マンなんです。阪急はいろいろ経営していますので、途中で宝塚歌劇団のプロデューサーをやり、電鉄や阪急グループの広報もやり、3年前に校長に赴任した次第です。

阪急電鉄が開業したのが1910年（明治43年）。翌年に終点の宝塚に「宝塚新温泉」をつくったんです。鉄道の集客をねらった一三のアイデアで、遊園地やプールのあるパラダイスでしたが、当時、男女が一緒にプールに入るとい時代でなく、水温も低かったので失敗でした。それで、プールに床板を張ってステージにし、脱衣場を観客席にして始まったのが宝塚少女歌劇なんです。温泉の余興でなく、「清く正しく美しく」をモットーにした国民劇をという一三の夢だったんです。それが人気を呼んで、1924年には4,000人収容の大劇場が完成し、「モン・パリ」など斬新で華麗なレビューの黄金時代が始まり、タカラヅカの地位が不動のものになります。プールの失敗を単に失敗に終わらせなかったところが一三の発想の豊かなところだったと思います。

今は、「ベルサイユのばら」の公演をしています。切符が取れない盛況で、当日売りのわずかの立ち見席にも大勢並んでいただいています。続く「ロミオとジュリエット」も人気です。これまでご覧になった方も初めての方もぜひ足を運んでいただき、タカラヅカの魅力を楽しんでいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

# 燃える早稲田。団体も個人も慶応を圧倒



第7回大阪早慶ゴルフ大会が6月1日、生駒市の飛鳥カンツリー倶楽部で開

催された。13組47人が参加し、チーム戦では早稲田が昨年に続いて連覇し、通算成績を早稲田の5勝2敗とした。個人戦では佐々木恒己さん（昭46年理工）が優勝し、団体、個人のダブルVに輝いた。

平年より早い梅雨入りで、大会前日まではこの日の天気予報に傘マークがついていたが、年に一度の決戦に水を差してはいけないと天が味方してくれたのか、雨なしの日和となり、コンディションは上々。チーム戦は、それぞれの上位10人のネットスコア合計で競うが、早稲田の722.2に対し、慶応は740.0。圧倒的な強さだった。全体の成績で1位、2位が早稲田。3位は慶応に譲ったものの4位、5位がまた早稲田。ベスト10のうち8人を早稲田が占めた。

個人戦優勝の佐々木さんはグロス88でネット70.4。慶応の銭高一善会長（昭41年経済）から表彰され、勝利の美酒に酔いしれていた。「ダブルペリア方式で、これ程ハンディーホールに恵まれたのは初めてです。パー3で7、パー4で6、パー5で8が全ての中しました。また、パートナーにも恵まれ、楽しいゴルフが出来ました」と喜んだ。

また、9番ホール（パー4）の320ヤードの砲台グリーンにワンオンした酒井敏行さん（平11年人間科

学）に特別賞が贈られた。

表彰パーティーで銭高会長は「大隈重信と福沢諭吉が無二の親友だったように、その雰囲気を受け継いでいる。ライバルというより兄弟のようなものだ」とあいさつ。早稲田倶楽部の人見亨会長（昭45年理工）は「きょうは楽しく交流できた。これからも友好を深めていきましょう」と述べた。

早稲田の上位20人の成績は別表の通り。

## 稲門上位 20人 成績表

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
1	佐々木 恒己	44	44	88	17.6	70.4
2	横山 利治	43	38	81	10.4	70.6
4	平田 房夫	45	38	83	11.6	71.4
5	竹田 雅幸	42	38	80	8.0	72.0
7	占部 博	54	49	103	30.8	72.2
8	柏木 行道	43	39	82	9.2	72.8
9	金本 基弘	44	37	81	8.0	73.0
10	稲部 勝博	39	42	81	8.0	73.0
12	伊藤 晴夫	41	44	85	11.6	73.4
13	人見 亨	42	43	85	11.6	73.4
16	南 仁秀	50	44	94	20.0	74.0
17	尾下 千明	44	48	92	17.6	74.4
19	村上 圭太郎	46	45	91	16.4	74.6
20	平田 裕	58	51	109	34.4	74.6
22	前田 修	43	52	95	20.0	75.0
28	藪本 光彦	47	45	92	15.2	76.8
31	平野 義朗	44	53	97	20.0	77.0
33	森元 泉	53	56	109	32.0	77.0
34	滋野 雅之	45	51	96	17.6	78.4
36	大塚 征慈郎	50	51	101	22.4	78.6



見事、個人Vの佐々木さん（左）。慶応の銭高会長（右）に祝福を受ける



The Finest Golf Resort  
**YOMIURI GOLF**

**読売ゴルフ株式会社**

〒669-1141 西宮市塩瀬町名塩北山

◆よみうりカントリークラブ 0797-61-0112  
 ◆よみうりゴルフウエストコース 0797-62-1121  
 ◆よみうりショートコース 0797-62-1122  
 さくらコース・光コース

# 京都三弘法と高野山御礼参り

田尾 秀寛(昭44年商)

今年年間50万人の人々が、四国を訪れるという第2次お遍路ブームである。

第1次お遍路ブームは元禄時代、高野聖・真念の「四國遍路道指南」「四國遍路霊場記」「四國遍路功德記」の3部作の大流行がきっかけである。江戸から東海道を上って京都に入り、三弘法を回って四国へ。御礼参りは高野山、更に山を越え西国1番青岸渡寺から33番華嚴寺を巡拝、中山道を通って帰ったという。

京都三弘法とは、「東寺」「仁和寺」「神光院」で、東寺で菅笠、仁和寺で金剛杖、神光院で納札箱を求めて出発した。この形もいつしか崩れ、平成16年東寺が最初に詣る寺と名乗りを上げ、道中安全の御札を頒布していたのだが、昨年4月、三寺が復活法要を行った。過去の例に従い、それぞれ小さい木札に絵で表現し、三つ揃えてビニールケースに入れるとお守りになる仕掛けを準備した。

私のライフワークは、四國遍路の先達、春秋の年2回一國巡りを行い2年で一周するのだが、御礼参りは東寺と高野山で催行してきた。今回から、「京都三弘法と高野山御礼参り」1泊2日に企画変更した。以下は、その旅日記である。

4月15日、新大阪に集合した15名、電通の先輩のご母堂(91歳)も一緒だ。口も頭もしっかりしているが、足がいう事をきかない。移動に車椅子が必要だ。先輩は、相当躊躇されていたが、ご母堂の願いを仲間が「面倒見るから連れておいで」と背中を押して参加となった。東寺で、兄弟子の土口哲光師と合流、三弘法の案内をお願いしたのだ。東寺では、食堂、御影堂、五重塔、金堂、講堂、観智院と盛り沢山だ。観智院で、お抹茶をいただく。御室櫻で有名な仁和寺は花見客で大賑わ

いだ。我々の目指す大師堂は、一番奥にある。石段は、男性軍で、車椅子ごと持ち上げて登る。櫻目当ての方は、大師堂までは来ないので静かなものだ。しかも大修理中。神光院に詣ると、住職が不在で納経の筆を持つ者がいないという。別紙に用意されているものをいただくことにした。

13時前に三弘法を打ち上げて兄弟子と別れ、お弁当をいただきながら高野山に向かう。かつての高野政所・慈尊院到着が15時半。勤行後拝殿に上がり、弘法大師のご母堂・玉依御前像を拝観する。今日の目玉

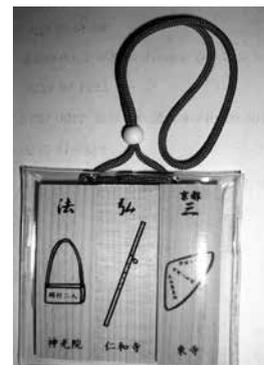
は、丹生都比売神社。世界遺産なのだが、通常のツアーでは立ち寄らないポイントだ。朱色の太鼓橋を渡る。18時前にお宿の高野山・無量光院に到着、土生川で住職夫妻のお迎えに大恐縮、バスと添乗員とはここで別れ。夕食は、本格的精進料理、若い役僧のお給仕にご婦人方は大満足だ。夜はミーティングと称して、焼酎で四方山話の一時。

無量光院の朝は、6時からの勤行に始まる。護摩供を伴ったの1時間40分程の法要、私も内陣で職衆を勤める。8時半、中本名玉堂のマイクロバスに乗り、山内ガイドの案内で奥の院に向かう。土生川夫妻始め役僧達のお見送りだ。御廟の橋の手前で記念写真。奥の院には、車椅子ルートも用意されている。金剛峯寺も内拝、今日の私は添乗員役だ。仲間の先達に助けをもらいながら、奥の院、金剛峯寺と納経作業。昼食は、中本名玉堂で精進料理。昼食とお土産購入の御蔭で、お店がマイクロバスを用意してくれるのだ。

壇上加藍に向かい、金堂、根本大塔は内拝。西塔、四所明神など廻り、一切経堂では、全員で取手を回し一周。これでお経をすべて読んだことになるは大はしゃぎ。電車の時間まで、霊宝館をゆっくりと拝観。心が洗われる時間だ。

特急こうや10号で難波へ。途中下車する者、難波から三重県まで帰る者など色々だが、再会を約してお別れ。仲間のパワーに助けられ、おばあ様も大喜びだった。

合掌



三弘法のお守り



丹生都比売神社の太鼓橋

# 倶楽部祭にぎやかに

ご家族も一緒に参加して楽しめるのが倶楽部祭



大阪早稲田倶楽部の倶楽部祭が4月6日（土）、大阪市中央区の玉造稲荷神社社会館で開催された。新入会員の歓迎会も兼ねて行われ、会員や家族ら54人が参加し、楽しいひとときを過ごした。この日は、風雨の激しい「爆弾低気圧」に見舞われ、大阪城公園内の「早稲田の森」への散策は中止となった。

倶楽部祭は伝統ある行事で、多くの参加者で盛り上がったたり、細々と開催したりという時期を経て昨年から新人歓迎会を合わせて多くの会員に集まってもらい、本格的に催すことにした。

4月の第一土曜が恒例だったこともあって、この日の開催となったが、今年は桜の開花が早く、この日はちょっと咲き遅れた花がちらほら。その風情も「爆弾低気圧」が吹き飛ばしてしまうほどだった。

外は嵐でも、中は稲門の熱気がいっぱい。人見亭会長（昭45年理工）は「生憎のお天気ですが、新しい仲間を迎えていっそう楽しくにぎやかに親睦を深めましょう」とあいさつ。歓談の輪が広がった。

春と秋の2回開いている新人歓迎会だが、この日は17人と奥様や子供さん4人も参加され、なごやかなムードに包まれた。平成卒の若い方が大半だが、昭和32年卒の松本明さんも仲間に。松本さんは人気テレビドラマ「裸の大将」を手掛けたプロデューサーでもある。入会された方は、会員の紹介だけでなく、ホームページを見て入られた方など様々で、齋藤佑樹さん（平16年政経）もその1人。ただ、あのハンカチ王子の佑ちゃんではなく、同姓同名の商工中金の調査役だ。白原早織さん（平11年人間科学）は「都の西北の校歌を歌いたくて入らせてもらいました」とあいさつして喝采を浴びた。

その校歌は会の最後に和田浩孝さん（平1年教育）のリードでみんなそろって声高らかに。閉会後は、神社の拝殿に上がらせてもらって祈祷を受けた。「早稲田の森」へ足を延ばすことはできなかったが、来年の楽しみに置いておこうということで、楽しく愉快に語り、飲み、食べた一日となった。



校歌斉唱に熱い血がたぎる



都心でくつろぐ安らぎのひととき。

## 日曜・祝日の貸切りパーティプラン

同窓会、趣味の会のほか、お客様招待会、新作発表会などビジネスにもお役立ていただけます。

お1人様 ¥5,000～同窓会プラン（50名～100名様）

お問合せは

☎(06)6316-1577・1590

メンバーズクラブ

関西文化サロン

大阪新阪急ホテル運営

阪急グランドビル19階

# 牛窓で牡蠣を堪能する

北原 仁巳(昭36年法)



今年最初のグルメツアーは3月16日、牛窓の「牡蠣」です。牡蠣は大好評なので、4回目となりますが、参加者は何と38名です。好天に恵まれて、9時に大阪駅を商都交通のDX観光バスで出発しました。参加者全員の簡単な自己紹介が終わると私の恒例の道中案内なのですが、今回は「天皇学入門」と称して「皇室系図」資料を配布して「女帝の系譜」「追号された天皇」「日本三大悪天皇」等のテーマで2時間ほどお話をさせて頂きました。順調な運行で11時30分には、「東洋のベニス」と呼ばれる牛窓港の西の岬の突端にある「TAMAKI 1世」に到着しました。この宿からの眺めは、近くに家島群島や小豆島、遠くには四国も望めて、しかも、早春の霞がたなびく夢のようなロケーションでありました。

バーベキュー室には収まりきれず、ベランダにまで

はみ出す始末です。牡蠣を自分で焼く食べ放題や数々の牡蠣料理と冷蔵庫から好きな飲料を取り出す飲み放題は、参加者全員が大満足であったと思います。磯辺陽子さん(平5年社学)の計らいで牡蠣のお土産を頂いて、バスに乗り込みました。途中、牛窓港前の「中光商店」に立ち寄りしました。このお店は瀬戸内の新鮮な魚をミンチ状にして油で揚げた「さつま揚げ」の名店です。バスを下車する折、1000円也の返金を受けとった皆さんはたくさん買い求めていたように思います。山陽道・中国自動車道を順調に走行して18時には大阪駅に無事、帰阪いたしました。

さて、提案ですが、グルメ会の飲料は原則的に飲み放題としておりましたが、①飲み放題という早稲田的悪しき慣習をやめる②予算的に飲料を減らして、より安くして参加者を多くしたい、と考えております。10年前に酒を一切やめてしまった小生の意見ですが、皆さんの御意見を伺って、参考に致したくよろしくお願い致します。



## アラカルト!!

### 福島県をご支援のほどお願いいたします

福島県大阪事務所長

今年4月、福島県大阪事務所(大阪駅前第一ビル9階)に赴任してまいりました。福島県庁の職員です。倶楽部を知り、早速入会させていただきました。

事務所の仕事は、企業誘致や観光物産PRなど福島県の産業振興を目的としていますが、東日本大震災後は、避難者の支援や風評被害対策など震災対応も大きな仕事になっています。震災と原子力災害から2年が過ぎましたが、福島県は今もなお、15万人もの県民がふるさとを離れ、県内外で避難生活を余儀なくされております。避難者が一日も早くふるさとに戻り、安心して生活が送れるよう放射能の除染やインフラ整備、さらには就労の場の確保などふるさと帰還の環境づくりを加速させなければなりません。

特に震災から2年過ぎた今日でも、福島県の基幹産業である農業をはじめあらゆる産業で風評被害による影響が出ており、この払拭に向け、福島県大阪事務所では、

景山 博(昭57年社学)

西日本における各種イベントなどで福島県の現状をしっかりと伝えし、福島県に対する理解を深めていただくよう職員一丸となって努力しているところです。倶楽部のみなさま方はじめ、ご理解、ご協力をたまわればと切に願っております。

NHK大河ドラマ「八重の桜」は、会津若松出身の新島八重さんの生涯を描いたものでありますが、幕末の動乱で打ちひしがれたところから、信念と勇気をもって立ち上がり、新しい世界を作ろうとするその姿は、まさに今の福島県と重ねて見ることができます。私たち福島県民は、震災、そして原子力災害からの復旧復興が必ずや果たされるものと信じ、その歩みを一步一步進めておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



# 奈良古墳群散策と工場見学

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

3月20日 今回は山の辺の道南部の古墳群散策と、三輪そうめんの手延べ体験がテーマです。自分が手延べした生麺を持って帰って味わうことができます。どこまでうまく伸ばせるのかと、そうめんは乾燥麺しか手に入らないので生麺を味わえるのは貴重な体験になります。

近鉄桜井駅に着くとホームはあふれんばかりの人の群れ。一体何事かと見ると毎日放送のラジオウォークに参加した人々でした。南東にある最初の桜井茶臼山古墳へ歩を進めると喧噪は消え、静かな散策となりました。天皇陵に指定された古墳等は宮内庁が管理して立入禁止ですが、この立派な前方後円墳は立ち入り自由。後円部の頂上への踏み跡があったので登ることにしました。傾斜がきつくなると足掛かりが無いために踏ん張りが利かず、灌木やササを掴んで何とか登りました。初代の神武天皇から124代の昭和天皇までの天皇陵が指定されていますが、明治時代に無理して決められたため、中には考古学による築造年代判定と天皇の在位が大きくずれているのがあります。

仏教伝来之地碑で山の辺の道に戻ると、桜井駅の群衆に出会いました。彼らは三輪から南に歩いており、細い通路一杯に歩く流れに我々は逆行するので歩き難いこと甚だしい。

海石榴市観音堂、大神神社、狹井神社、檜原神社等を巡り昼食の「そうめん処三輪茶屋」へ。午後1時を過ぎていたので空腹となり、にゅうめんをととても美味しく味わいました。お腹が膨れて落ち着いたところで手延べ体験。まずビデオとユーモア溢れる係員の説明を聞いて三輪そうめんの作り方を理解できました。

予め直径7mmまで伸ばして2本の金属棒に掛けたのを手で引っ張ります。引っ張る感覚はまるでゴム紐を引っ張っている感じで強い力が必要でした。伸ばして細くなると切れないかと心配になりますが、グルテンの腰が強く直径約1mmまで切れることなく伸びて無事終了。綺麗に揃った太さで伸びるのに感心しました。生麺の茹で方を聞いて帰路につきました。

柳本駅まで歩く予定でしたが雨が本降りとなったので、巻向駅から奈良行き電車に乗りました。JR奈良駅前「鼻負屋」で勝山、田村、森本の3名で反省会を行い、これも大いに盛り上がりました。

家に帰って説明された通りに茹でて夕食に食べると美味しいこと。乾燥麺では味わえない腰の強さがあり、まるで細い讃岐うどんを食べている様でした。

そうめんを美味しく茹でるコツは次の2点だそうです。

①吹きこぼれそうになっても水は注さず炎を小さくする。水を注すのは、昔の火力の調節が困難なかまどや炭で調理していた時の名残だそうです。

②茹であがったそうめんは冷水でしっかりもみ洗います。良質のそうめんは切れることなく、ぬめりと塩分が取れて美味しくなります。

普通ではできないおもしろい体験をしました。



結構力があるそうめん伸ばし。切らないように慎重に

## 優秀な語学人材はインターグループへ

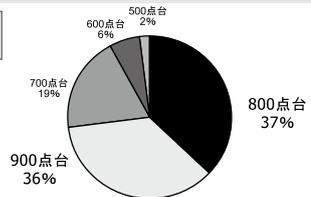
**人材育成から派遣・紹介までワンストップ**

- 【人材育成】 弊社教育機関インタースクールで語学訓練
- 【品質管理】 講師がスタッフの能力を評価、見極め
- 【派遣・紹介】 ご要望に応じた語学スペシャリストを提供

●人材派遣・紹介予定派遣 主な実績先●  
大手製薬会社(日系・外資)、大手製造メーカー、官公庁、国公立・私立大学、外資系企業、研究機関等、諸団体 多数

弊社スタッフのTOEICスコアは800点以上が中心

弊社スタッフTOEICスコア分布図



語学スペシャリスト人材派遣・紹介の  
(翻訳・通訳・バイリンガル秘書・英文事務等)



株式会社 **インターグループ**  
since 1966  
東京、大阪、名古屋、仙台、広島、福岡、京都、金沢

☎ 06-6372-8350

🔍 インターグループ



# つながるという生活

——フェイスブックのスマート・安全な使い方

豊島 恵子(昭52年法)

昨今、巷でも早稲田倶楽部でも、活発に利用されているフェイスブック。残念なことに、倶楽部中高年会員各位には、「よく聞くけど・・・」「興味はあるけど、どう使うの?」状態の方が多く見受けられます。かく言うわたくしも、その一人であります。



自分のページの設定と近況や心境のアップの仕方③他のメンバーとの双方向のコミュニケーションの取り方、などを丁寧に解説されました。(適当なプロジェクターが用意できず、少々見づらかったことをお詫びいたします。)

その際、岡本さんが特に強

そで、今回は、パソコンの操作に詳しく、フェイスブック(以下、FBとします。)の機能を熟知しておられる岡本周造さん(昭57年社学)にお願いして、FBの第一歩からご教示いただくことにしました。

手前味噌ながら、皆様こうした機会を待っておられたのですね。2月8日の当日は、京都校友会からの飛び入り参加も含め、会場満杯の22名が出席され、岡本さんの熱のこもった解説に勝るとも劣らぬ熱心さで、耳を傾けておられました。

さて、FBとは、人と人のつながりを促進サポートすることで、人間関係構築の場を提供するネット上の会員制サービス(SNS)の一つです。2004年に創設され、現在では、世界最大規模のSNSです。FB上では、何らかの共通点を持つ人達がグループを作り(岡本さんが立ち上げた、FB上の大阪早稲田倶楽部や、広く関西在住の校友の集まりなどもその例)、互いに情報をやり取りしています。

では、具体的にどうやってFBに参加するのか?岡本さんが自らパソコンの画面から起こしたカラーページを使って、①実名が要請されるログインの仕方②

調されたのは、①FBの利用に潜む危険性②利用のマナー、の2点です。FBの利用にあたっては、自らの情報をきちんとコントロールする必要があります。さもないと、自分の情報が、果てしなく流出してしまう危険性があります。また、顔の見えないネット上のやり取りは、思わぬ誤解を生み易いものですから、ネット上の発言には、十分な注意が必要です。否定的なコメントや、名指しで他人の悪口中傷をすることは、避けなければなりません。ルールとマナーを守って、FBを楽しく利用しましょう。

講演会後の懇親会にも、多くの方が参加されました。その席では、実際に利用されている方々から、「社内の人間関係をFB上どう扱っていくべきか」「FBは、会社にどんな影響をもたらすか」「FB上のトラブルの処理の仕方」など、真摯な質問が相次ぎました。

体の不調を押して渾身の解説をしてくださった岡本さん、本当にありがとうございました。復調されたら、「ぜひもう一度質問の機会を」というのが、当夜の参加者の強い要望です。



ミニバンのことなら!



コンパクトカーのことなら!



ハイブリッドカーのことなら!



**ネットトヨタニューリー北大阪株式会社**

取締役会長 小西 清海 昭和22年政経  
代表取締役社長 小西 康仁 昭和52年商

ネットニューリー 検索

# 観光バスの来る小学校

林 仁(特別賛助会員)

種子島の  
ロケット  
発射台  
の  
JAXA



平成24年も残り少ない12月中旬、鹿児島県の種子島を女房と訪れた。

年末に失効する航空会社のマイレージを生かすため、北に南にあれこれ計画を立てたが、究極女房の古里鹿兒島を選んだ。市内に住む長姉を見舞い、その年の4月に県の教育委員会から、種子島の小さな小学校に校長として赴任した、姉の長男の小学校を訪問することにした。当時の赴任の挨拶状にはJAXAのロケット基地を見に来て下さい。星が綺麗ですよ！暖かいですよ！とあり、元々この基地に行ってみたくていた女房の、一石三鳥の意見に従った。

種子島へ。空路もあるが海路を選んだ。鹿児島港から時速80kmの水中翼船トッピー（飛び魚の方言）で1時間半の距離。下船した人たちが居なくなると、たちまちとても静かな港になった。漁協のセリが部屋から見えるホテルに投宿。時間があるのでそれを見学に出掛けた。

大型の魚がコンクリートの上を飛び跳ねている。ロウニンアジやカツオ、ヤガラという刀のような魚、ウチワエビ、アカメという眼まで真っ赤な鯛の種類。セリをしているにも拘わらず自由に歩き廻らせてくれ、写真も取らせてくれた。おまけに魚まで持ちあげてモデルになってくれるおじさんも居る始末である。その後、鉄砲（種子島）伝来を表示する鉄砲館、武家社会南限の赤尾木城下にある月窓亭他を見物し1日は終わった。

2日目 西之表市から平坦な道路をレンタカーでJAXA 宇宙基地と、そこから20分くらいの、南種子町立「花峰小学校」へ。

道中はサトウキビ畑と白砂のビーチをいたるところで見かける。スマップのキムタクが現奥さんと当時お忍びでサーフィンをこの島で楽しんだとか。宇宙基地はまた別の機会に譲るとして、小学校の正門の前はバ

スが20台くらい停まれる駐車場になっている。なんで？の疑問がわいたが訪問してみてもあとで分かった。

校庭はトラック以外全て青々とした芝生。体育館の外側には、「天にはばたけ花峰の子」の大きな字が掲げられている。学校到着が基地見学後となった為、生徒たちは下校していたが、教職員8名生徒11名その内5名が北海道を含め「学童留学」の子達であると教えられた。預かっておられる家庭も我が子のように大事に時には厳しく愛情持って接してもらっており、マンツーマン教育と言っても過言ではない状況で、成績は県内でも上位であるとのことであった。

本題の観光バスが来る小学校の意味であるが、この学校の校庭の片隅で飼育されている「インギー鶏（インギリスを指す方言）」天然記念物を見物に来られる為であるそうだ。



花峰小学校で。校庭は芝生でした。左が筆者

明治27年(1894年)東方のジパングを目指していたインギリスの交易船「ドラメルタン号」が、校門から下った前之浜の海岸に嵐で漂着。地元民が救助を行い、迎いの艦船が到着するまで手厚く保護もてなしたそうです。校長室に当時の英国からの、救助に対する感謝状が掲示されておりました。漂着した船に食糧として積み込まれていた11羽を、現地が貰い、インギー鶏と呼称、現在まで累々と続いているという次第です。

生き物のこと365日休むことなく児童がその世話をし、校庭の芝生の雑草引きもおこなっているということでした。統廃合の話も無いことはないこの学校で、教育の奥深さ的なものを感じた。

3日間滞在し、総じて島の人々の「笑顔の素晴らしさ」「ホスピタリティーの良さ」を痛感した。そして自分達が何とせかせかと、毎日を生きていることか！沖縄や先島諸島の皆さんが長寿である一端を垣間見ることが出来た旅であるように思った。

# Let's Play Tennis

小山 茂樹(昭58年教育)

5月19日、空はあいにくの雨模様だったが、シーサイドテニスガーデン舞洲の室内コートでおこなわれるフジワラ・テニススクールは、天候に左右されることなく予定通り午後1時から始まった。参加者は藤原コーチのほか7名。中学生から70代までの幅広い世代が、3時間、気持ちのよい汗を流した。

まずはフォアハンドのストローク、バックハンドのストロークを、コーチのアドバイスを受けながら打つ。わたしはフォアハンドのストロークが苦手で、テイクバックのときに余計な力が入ってしまい、インパクトがなかなか安定しない。そこを意識しながらストロークを繰り返す。

ひとつおりのラリーまで終わると、ダブルスのゲーム形式での練習になる。何もかも忘れて夢中でサーブを打ち、ボールを追いかけて、ラケットを振る。フェアプ

レーや珍プレーに拍手や笑顔がひろがる。きれいなボレーが決まったときはとても気持ちがいい。

わたしがフジワラ・テニススクールに参加したのは今回が2回目だった。以前にテニススクールに通ったことがあるが、十数年間のブランクがある。他の参加者の方の足を引っ張るのではないかという不安をかかえながら、今年3月にはじめて参加した。そのときは数日前からアゴの関節が痛かった。食事のときも口を大きく開けられない状態がつづいていた。しかし、ひさしぶりに体を動かし、こりかたまっていた部分がほぐれたのがよかったのだろう、その日の夜にはアゴの痛みは消えていた。日頃の運動不足を実感させられたのだった。

ストレス発散、運動不足の解消に、みなさんもフジワラ・テニススクールに参加してみたいかが。

## アラカルト 関西の演劇を観て支えよう

関西演劇文化研究会 浅井 佳穂(平17年教育)

関西演劇文化研究会では、従来の文楽鑑賞に加え新たな分野の鑑賞を行うよう努めてきました。昨年10月には宝塚稲門会と合同で宝塚歌劇を鑑賞。今年1月には、常任指揮者及び団長が本倶楽部員であるご縁でクラシックの鑑賞会を実施しました。今春からは歌舞伎・文楽(担当・浅井)、クラシック音楽(担当・藤本竜太 平12年教育)に加え、能・落語(担当・土永聡志 昭61年政経)の各部門制を実施し、土永先輩のもと能入門講座や落語鑑賞会を増やしてきました。

また、関西に根付く演劇文化を若手に紹介するという趣旨のもと、京都南座で歌舞伎鑑賞教室も行い、これを受

けた形で8月には大阪新歌舞伎座で行われる「新・水滸伝」を新歌舞伎座にお勤めの古田哲也先輩(平4年政経)のご優待のもと鑑賞予定です。

今後は上記3部門の各パートが積極的に活動することで倶楽部活性化に貢献できればと思っております。年明けに校友会大阪府支部が行う文楽鑑賞会には本倶楽部員も支部員として多数ご参加いただいています。今後も校友会大阪府支部のみならず、近隣の校友会、また早稲田摂陵中高などとの連携も視野に入れ、活動していきたいと思っております。



# Yomiuri

企画 *planing*

デザイン *design*

印刷 *printing*

大阪読売サービス株式会社

〒530-0055 大阪市北区野崎町5番9号

お問い合わせ 制作センター TEL:06-6366-1823 FAX:06-6881-7235 E-mail:seisaku@oys.jp

# 台湾阿里山の旅

片岡 隆(昭34年商)

平成24年10月初め、私達和敬塾塾友会山の会のメンバー11人は独自のオリジナル旅行プランで台湾阿里山ご来光を拝する旅に出た。旅の内容は、「阿里山(2481m)森林浴」、「祝山(2484m)よりのご来光を拝す」、「玉山(旧日本名ニイタカヤマ3952m)をのぞむ」、「地元料理を堪能する」、「名所旧跡を探訪する」、「故宮博物院の美術品の鑑賞」、「八田与一氏設計の烏山頭ダムと与一氏御夫妻の墓参」等々盛り沢山。

主な目的地の阿里山は多様な森林植物の景観が楽しみ、東大寺、靖国神社、伊勢神宮などに使われる神木の産地でもある。

ご来光の祝山へは、阿里山で一番のホテル阿里山賓館を午前4時に出発。折からの暁の満月を車窓から賞でながらトロッコ電車駅へ。約30分で展望台地駅。車内は中国本土からの若い観光客で満員であった。てごろで安価な国外旅行と言うことで台湾旅行は大変人気があるという。

展望台地にはヤムチャ(飲茶)などスナックを売る店が大勢の観光客の食欲を満たしており、大変な賑わいである。4000mの新高山から太陽がのぞく瞬間は誠に厳粛な気分におそわれた。

台湾で一番尊敬され、小学生に至るまで知らない人はないという日本人がいる。その人は八田与一氏。日本統治時代に灌漑・水利技師として赴任、東洋最大と言われた烏山頭ダムを作りあげ、三十有余年に亘り台湾の水利事業に尽し、台湾に骨を埋めた日本人であ



る。台湾の稲作と緑の平野の元をつくった日本人として、今でも毎年命日にはお祭りがとり行われ、台湾の要人も参列されるとの事である。

さて、山を下り台中での晩餐には、台湾ロータリークラブの人達3人が参加してくれて日台友好の

楽しい会となった。今回のツアーをねり上げてくれたメンバーの西垣文雄氏のロータリー友人達でした。

最終台北での夕食には私達と同じ和敬塾出身、産経台北支局長がかけつけてくれた。時事談話などにはなが咲き、時のたつのを忘れる程であった。

さて、和敬塾と言っても、どんなところか御存じない方もおられると思いますので少しふれさせていただきます。

昭和30年に事業家、前川喜作先生が私財を投じて創設された一大学生寮であります。今日、此处を出た卒業者は約五千人。対象学生は首都圏の大学に学ぶ地方及び外国からの学生です。終戦後の混乱と貧しさの中で、学ぶ学生を援助して、日本の復興に寄与して貰いたいという創立者の信念と情熱より出来た世界でも、例を見ない学生寮だと思われま。塾父は、オクスフォード、ケンブリッジの全寮制教育方針に感銘されて此の寮の設立を決意なさっておられます。

昨年9月号の経済誌「ダイヤモンド」に、著名人を輩出する名門三団体として、早稲田大学、慶応義塾大学、和敬塾を挙げております。和敬塾創設者の信念と情熱は「和敬塾塾歌」に明々白々と示されています。

## 野村総合法律事務所

弁護士 野村 公平 昭和47年法

**NOMURA KOUHEI**

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目14-16 西天満パークビル3号館3F

TEL.06-6365-0130 FAX.06-6365-5016

# 俳句会一年の歩み (第516回～第518回)

## 四月句会 2012年4月17日

兼題：桜、亀鳴く、壺焼

回復の久しき顔や八重桜  
放生の亀御遠忌をひた鳴ける  
浩 一郎

小鼓の高き響や花篝  
壺焼の香に遠き日を懐かしむ  
城 洋

満開の桜一夜の嵐かな  
壺焼の貝殻白く残りけり  
こうじ

ひとひらの先駆けありし花吹雪  
亀の鳴く山河や遠野物語  
傀 舟

亀鳴くや聖天の池闇迫る  
トラックター泥点点と春の雨  
隆

壺焼にワインも合ふと若女将  
ライトアップ桜見る人皆笑ふ  
いっこう

斑鳩の寺に遊びて花見かな  
壺焼の思ひ出神戸三宮  
こうき

夕桜暮れゆく里の匂ひかな  
散りゆきて吹き流る山桜  
倚 偶

朝早く摘んできたりし蓬かな  
木蓮の蕾ほころびほころびし  
けんじ

兩岸の花と触れ合ふ花見舟  
亀鳴いて知らぬ振りするどぜうかな  
洛 童

爛漫の桜聞き入る読経かな  
まだ堅き舞台桜や麻績の里  
秀 寛

山の辺に競り合う白き雪柳  
もや立ちて又兵衛桜遠く見ゆ  
大 地

亀鳴くや四天王寺の屋下がり  
釣鐘に桜一片とまりけり  
治

落花はや五風十雨とふ最中  
壺焼をくると母の手際かな  
喜 代

花明り人の心を温かに  
賑わいの終焉告げる花吹雪  
京 子

のどけしや長堤歩して語ろうて  
満開の枝垂れ桜の雨重し  
廣 子

ひと駅を桜並木へ廻り道  
壺焼を囲みて今日の磯日和  
青 城

## 五月句会 2012年5月20日

一 京都御所吟行 兼題：囀目

今といふ時を光れる新樹かな  
やや強き若葉風とぞ思ひけり  
浩 一郎

屋根のそり青葉の揺れと共鳴す  
松いらかカラス騒いで夏を呼ぶ  
隆

右ひだり京都御苑は楠若葉  
黄菖蒲や出水の小川といふ流れ  
こうき

音立てず森の声聞く夏帽子  
新緑のやわらかき風匂ひをり  
倚 偶

築地塀降りかかりたり松落葉  
新緑に拾翠亭の障子映え  
けんじ

喧騒を遮る御所の夏木立  
白日傘御所の土塀に影と行く  
洛 童

もう少し居たきこの世や楠若葉  
御苑なる葉蔭に実梅育ちつつ  
喜 代

薫風に誘なはれゆく閑院宮  
大いなる緑の中の京都御所  
京 子

風そよぎ桜若葉の空騒ぐ  
先ず日蔭探して苑の夏めけり  
廣 子

弾跡の残る御門や若葉風  
九條邸跡の石垣青蜥蜴  
青 城

## 六月句会 2012年6月26日

兼題：入梅、雨蛙、萍

てのひらに疑はぬ目の青蛙  
三輪山をかくさうべしやさみだるる  
浩 一郎

早発ちの友と酌む夜の明け易き  
花菖蒲揺らせる鯉の尾緒かな  
城 洋

震災の仮の住まひや梅雨に入る  
入梅やスカイツリーは雲の中  
こうじ

梅雨晴や日向日陰にはづむ声  
クレヨンの一色で画く茂りかな  
傀 舟

老鶯一声耳つんぎける明けの庭  
ふる里の岩頭に立つ卯波かな  
隆

ついでして墨絵のごとく飛騨路かな  
父の日や線香あげて終りとす  
いっこう

お茶淹れて静かに迎ふついでかな  
葉に座して無念無想の雨蛙  
こうき

浮草の岸辺に寄りてねむりけり  
梅雨深し庭に匂ひのある如く  
倚 偶

夏大根口いっばいの辛さかな  
梅雨茸や青き芝生のここかしこ  
けんじ

梅雨晴間ノルマを刻む万歩計  
お田舞に合はせて動く傘の列  
洛 童

寺の池蓮の葉に乗る雨蛙  
緑陰に立つお大師の笑顔かな  
秀 寛

奥能登やひそやかに咲く濃紫陽花  
隠れ寺余花なほも咲く飛騨路哉  
大 地

正座して風に揺るるや枝蛙  
ずぶ濡れの小さき命や雨蛙  
治

吹き寄せられて萍の押し合へる  
萍をまぜっかへすや雛鳥は  
喜 代

梅雨入りの棚田に光る夕陽かな  
溪川の天空へ消えゆく螢かな  
京 子

入梅の河内野水路まっすぐに  
咲きつぎし沙羅の花落ち白き庭  
青 城



# 俳句会一年の歩み (第519回～第521回)

## 七月句会 2012年7月17日

兼題：虹、夏館、滝

もう虹のあらざる空をまた見上ぐ  
山の灯に由緒古りゆく夏館  
浩一郎

夕立去り土の吐息を残しけり  
青空を背に輝きぬ大夏木  
城 洋

枝打ちの終へし杉山空に虹  
軽やかなピアノの響き夏館  
こうじ

パリ祭やピアフモンタン今にして  
古椅子のテラスにきむ夏館  
傀 舟

スポーツカー目立ち過ぎたる夏館  
虹の輪を追いかけて飛んだあの子いま  
隆

出雲から石見にかかる神の虹  
九谷焼実篤の書も夏館  
いっこう

虹立ちぬしばらく逢はぬ人のごと  
炎帝に草木は伏して人黙す  
こうき

瀧の音今年もしかとこの耳に  
夏館虫戯れしこの耳に  
倚 偶

ちさきもの大きなものもサングラス  
さやさやと葉擦れの音や夏館  
けんじ

滝垢離の読経の声の滝壺に  
梅雨晴間陰干したる剣道着  
洛 童

さみだれや御礼詣りの奥の院  
紫陽花や思い偲ばる崇徳院  
秀 寛

夕虹や遠きアルプス際やかに  
黒潮やみかんの花の匂ふとき  
大 地

百年の梁の太さや夏館  
沙汰絶えし人渡りこよ虹の橋  
治

湖に向け開け放ちけり夏館  
螺旋なる太き手摺や夏館  
喜 代

乾杯のグラス涼しく響きけり  
那智の瀧太古の教えに手を合す  
京 子

見上げある葉擦の音や夏館  
水明かり合歓明かりあり浮見堂  
廣 子

来客の座布団に置く絹団扇  
民宿に蚊帳と出会ひし泊まりかな  
青 城

## 八月句会 2012年8月28日

兼題：踊、地藏盆、赤のまんま

子の声の称名透る地藏盆  
暮るるまで遊ぶ軒端や赤のまんま  
浩一郎

廃線の枕木残り虫の秋  
道の辺に石佛立てり草の花  
城 洋

一灯の風の浄土や地藏盆  
ここだにも阿呆の顔や踊の輪  
傀 舟

山駆けし友より便り烏瓜  
蓼河原飛びはねし日の跣足かな  
隆

提灯に祖父の名のあり地藏盆  
顔かくし一人輪に入る踊かな  
いっこう

秋暑したただ庭の草眺め  
空びんにそっと生けたる赤のまんま  
こうき

撫子や地球の庭で花咲かし  
朝顔や朝露にぬれ今日の幸  
倚 偶

墓洗ひ日頃の無沙汰詫びにけり  
はるけくもエルサレムにて星月夜  
けんじ

なつかしき顔の揃ひし地藏盆  
聴診器肌に感ずる今朝の秋  
洛 童

早稲青く生姜緑に土佐の路  
厄坂に一円並ぶ夏遍路  
秀 寛

遠き日や赤のまま摘む通学路  
夜更けまで郡上おどりや艶めける  
大 地

濁み声に込めし年期や音頭取  
迎火に傘さしかける通り雨  
治

嬉しくて少しかなしき地藏盆  
敗戦のある日もことに青き空  
喜 代

かりそめの人世なりし盆送る  
風の盆心にひびく胡弓の音  
京 子

盆唄を聞けば自然と手の踊る  
月見草富士を背にして煌めきぬ  
廣 子

鬼灯を鳴らして少女よそよそし  
送り火の消え残りたる闇にあり  
青 城

## 九月句会 2012年9月18日

兼題：秋草、月見、霧

物干に男声する月見かな  
秋草の白き微塵や風に咲き  
浩一郎

水底の鯉の尾鰭や水澄める  
更けし夜の声に独りの秋灯  
城 洋

海霧深き岬に古りし海難碑  
火の山のかぶさる野辺の秋の草  
傀 舟

芭蕉葉や故郷忘れぬ庭になり  
秋草の作戦愛でて触りけり  
隆

天高く隠して霧の竹田城  
霧歌ふありて青春年重ね  
いっこう

霧の中想像といふ遊びごと  
エンディングノート未だまだ敬老日  
こうき

秋昼寝覚めてこの世の色をなし  
秋の草子供らがみなかくれんぼ  
倚 偶

霧の海おーいの声も吸ひ込まる  
あつあつの枝豆つまみビール飲む  
けんじ

鐘の音に幽かに霧に動きあり  
瞑想に耽る羅漢や竹の秋  
洛 童

秋草の朝霧払う金剛杖  
熊谷寺ご開帳日の残暑かな  
秀 寛

信濃きていよいよ秋草匂ふかな  
興福寺塔に夕月かかりけり  
大 地

渡し場は名のみ残りて秋の草  
ゆきずりの人と月見る歩道橋  
治

剪り取れば秋草ハーブ匂ひ立つ  
鉛筆の床転がるも秋の音  
喜 代

秋草の中にかくれし道標  
朝霧に湯の香しのばせ由布の里  
京 子

草叢の光にまみれ露万朶  
露天風呂満天の星虫しぐれ  
廣 子

川霧の晴るるを釣師待ちかねて  
濡れ縁に胡座組みつつ月を待つ  
青 城

# 俳句会一年の歩み (第522回～第524回)

## 十月句会 2012年10月14日

—奈良吟行— 兼題：囀目

名の椿庭に植ゑんと実を拾ふ  
千年の秋思の眉の阿修羅かな  
浩 一郎

天高く猿沢の池塔映ゆる  
七五三祈りの声の風にのる  
隆

橘の色づきはじむ南円堂  
柚子の実の葉に埋もれて神の庭  
こうき

ひいらぎや空に大きな風を聞き  
吟行の秋と思えば身も軽く  
倚 偶

古都の秋碧き目の人リュック脊に  
椀皮葺打つ秋霖の音静か  
けんじ

秋祭氏子総出の下準備  
爽やかに一陣の風池渡る  
洛 童

秋の雲古都の空へと広ごりぬ  
秋の朝ひとり托鉢行基像  
大 地

角切りの了りて鹿の猛からず  
手入れよき色変へぬ松陵に  
喜 代

古都の秋清き心に身を委ね  
赤き実のもちの大木伝香寺  
京 子

耳をたて警戒しつつ親子鹿  
葉の蔭に色づきはじむ寺の柿  
青 城

## 十一月句会 2012年11月20日

兼題：神の留守、落葉、冬暖

句に集ひはた酌み交し冬ぬくき  
神の留守風思ふまま杜駆くる  
浩 一郎

哀へし身を庇ひつつ新酒酌む  
秋の日を返す大屋根大伽藍  
城 洋

手水鉢こびり付きたる落葉搔く  
思ひ立ち日記に落葉挿みけり  
こうじ

一穂の香煙ゆらぎ冬ぬくし  
息災の身を細うして冬ぬくし  
傀 舟

冬田行く株踏みしめる生きている  
慣れ親し樹の切られるや冬の朝  
隆

落葉散る侘び寂知りて年重ね  
腰痛を忘れ小春日寺詣り  
いっこう

焼きたてのパン分け合ふて冬ぬくし  
住み慣れて古りし我が家の冬ぬくし  
こうき

ゆっくりと時計の動く霜月や  
冬暖しうつらうつらの酒肴  
倚 偶

ふろふきをふうふうふきてほほばりぬ  
冬晴れやシェーンプルンの黄の映えり  
けんじ

お火焚の幣舞ひ上る京の街  
庭の木の剪定し終え冬に入る  
洛 童

小春日や海和やかに小豆島  
島遍路釣瓶落しの影を踏み  
秀 寛

冬ぬくしガラス拭きする嫁がぬ子  
雪催ひ雲の彼方に三輪の山  
だいち

ふゆぬくし鳴き砂の浜子ら走る  
石鐘へ法螺をききつつ落葉踏む  
阿波公方

絵馬ひとつ落ちたるま、や神の留守  
ゆく水に楓落葉や瀧の道  
治

白涛の尖り越前冬に入る  
冬紅葉峡の船旅小半刻  
喜 代

名園にいぎなう古都の落葉かな  
落葉にも個性がありし色形  
京 子

雨上り森はしづかに冬に入る  
敷き詰めし落葉錦の小径歩す  
廣 子

留石を置いたる露地や紅葉降る  
銀杏落葉踏みて立寄る芭蕉句碑  
青 城

## 十二月句会 2012年12月18日

兼題：歳晚一切、河豚

咳いてより心経の朗々と  
河豚食はぬまに成仏したりけり  
浩 一郎

療養の身にも師走の思ひあり  
出席を心に決めし聖誕日  
城 洋

中州暮れチリ鍋提灯明々と  
仏壇の掃除済ませて歳暮るる  
こうじ

小春日和紅一色に柿つるす  
生まれし地蔵尊へと冬田踏む  
隆

通過する駅の待つ人着ぶくれて  
参拝も願ひもあとに大根焚  
いっこう

駅師走津軽三味線弾く男  
行年や思ひ出多き旅もあり  
こうき

ふぐ汁にあたたまりゆくはなしか  
大空の穴よりのぞく師走かな  
倚 偶

湯けむりや雪舞ふ街を紅き傘  
山寺の冬枯れてなほ寂しけれ  
けんじ

熱爛や落選したる者同士  
大津絵の鬼が三味ひく年の暮  
洛 童

満願の雪踏みしめて奥の院  
錫杖を持つ手凍らす師走雪  
秀 寛

袖子湯してまだと応へし長湯かな  
ぼたん鍋笹がきごぼう際やかに  
だいち

寒空に子規の俳句のいさぎよし  
小晦日棚より降ろす赤九谷  
阿波公方

年ごとに猫背の妻や春支度  
煩惱は生ある限り除夜の鐘  
治

ふっくらと豆も煮えたり年用意  
鰯酒の焦げのコップに沈みをり  
喜 代

純粹に生きたく思ふ漱石忌  
ふぐをふく響き飛交う市場かな  
京 子

青空に研ぎ澄まれし枯木かな  
一塊の雲を擲めて大枯木  
廣 子

一人身となり始めての年用意  
河豚鍋を囲みし眼鏡曇りけり  
青 城



俳句会一年の歩み (第525回～第527回)

一月句会 2013年1月15日

兼題：新年一切、雪

雪湧くや昏き天より果てもなく  
大琵琶を舞ひ来て粉雪わが胸に  
浩 一郎

襟立てて日本列島寒に入る  
山菜の小鉢春の香もたらしぬ  
城 洋

音の無き世界に沈む雪の宿  
足腰をうんと伸ばして初湯かな  
こうじ

亡き妻の詠みし短歌を書初に  
帰省せぬ孫の名も記す箸袋  
青 城

竹筒に竹の杯初詣で  
削岩機音静まりて山眠る  
隆

水のごと淡々と生き年新た  
出初式江戸からつなぐ町の衆  
いっこう

雪見酒洒落も愉しや聞き流し  
年玉を見せくらべする姉妹かな  
倚 偶

年酒酌み交はすと雖へどふたりかな  
芝枯れし侘住ひにも馴れにけり  
けんじ

鞭や慣れぬ男の水仕事  
顔見世を終えて弔ふ勘三郎  
洛 童

初春のお礼参りの笑顔かな  
南無大師声高らかに御修法かな  
秀 寛

亡き友の子より届きし寒見舞  
初風や遠く黒潮見はるかす  
だいち

注連飾り朝日に群れる雀かな  
落ちぶれて菰着ていても寒牡丹  
阿波公方

息災が願ひの全て初詣  
天と地のひとつとなりし雪の原  
治

初景色日の照り映えて須磨明石  
紅筆に華やいでゆく初鏡  
喜 代

大根煮る香りは母の憶いのせ  
大鳥居雪の烏帽子で出迎る  
京 子

寒晴に朱の極まりし太鼓橋  
飛火野の空がらんどう春を待つ  
廣 子

合ひ寄れば話しは尽きず老の春  
石段は休みやすみの初詣  
こうき

二月句会 2013年2月19日

兼題：余寒、山焼く、下萌

あめつちの光ふえ来て下萌ゆる  
男逝く峰々ある雪を光らせよ  
浩 一郎

黒土の精気を集め路の藁  
野仏の前垂重し春時雨  
城 洋

峠来て野焼の煙遠く見ゆ  
病院の待合室の余寒かな  
こうじ

耕しの影そちこちに熊野道  
下萌の土手駆けのぼり近道す  
青 城

凍りつくわだちの跡や里の道  
天空に寒月ばかり里眠る  
隆

余寒なほ欠けた徳利のひとり酒  
ふと思ふ足元軽し下萌ゆる  
いっこう

下萌て声出す人のそぶりかな  
樹々の間を風に誘はれ下萌る  
倚 偶

海苔粗朶のあひだをくぐる小舟かな  
春立ちてなんとはなしに足かろく  
けんじ

梅が香や立ち去り難し暮れ泥む  
人は皆心のなかの鬼やらひ  
洛 童

南無薬師結願の寺風凍る  
残雪を踏みしめ参る奥の院  
秀 寛

水辺まで草萌えわたる飛鳥川  
友逝きて哀しきまでに春寒し  
だいち

友ひとり欠けし句会や春寒し  
古都の夜を染めて山焼く焰かな  
治

春立つといふに還らぬひとのあり  
山焼のきのふのにはほひ残りをり  
喜 代

下萌て絵筆躍れる川辺かな  
バス待ちし肩をすばめる余寒かな  
京 子

寂光の中より奏つ梅の花  
野にい出し大地の鼓動下萌ゆる  
廣 子

草萌えて鉢いっぱい命かな  
草青む引けば根深し土を連れ  
こうき

三月句会 2013年3月19日

兼題：春の川、山笑ふ、春雨

少年の少女に手振る春の川  
あたたかやかがめば匂ふ土手の土  
浩 一郎

ふるさとの春届け来し干鯨  
草餅のほろ苦き香を懐しむ  
城 洋

春霖や障子の外の仄暗さ  
春雨や大和三山もやの中  
こうじ

亡き妻を偲びつ飾る雛まつり  
人の業負ひしか沖へ雛送る  
青 城

鉄柵に雨滴輝く春の雨  
孤独なるバンダかと見ゆ斑雪かな  
隆

春雨やお茶か酒かと聞く女  
春雨の濡らして光る寺の句碑  
いっこう

春の雨いつものことよ妻の乱  
これよりは水清きこと春の川  
倚 偶

春の宵幼なじみと長電話  
苔のせたごつごつの木に梅一輪  
けんじ

春風や水面に消ゆる二上山  
紫に烟る梢の木の芽どき  
洛 童

石山寺蛭づくしの昼餉かな  
蓑笠に護られ咲くや寒牡丹  
秀 寛

黒部川とどろきわたる雪解かな  
木曾谷の白際やかに雪柳  
だいち

春雨やつぼを外れし弦の音  
借り傘の女模様や春の雨  
治

ラグタイムスキップしよう春や春  
芹濯ぐ小さき流れのありにけり  
喜 代

眠り覚め天地躍動山笑う  
薄衣をやさしく包む春の川  
京 子

春の川煌めきながら流れけり  
春めくや天地醸す匂ひあり  
廣 子

堰越ゆる水の勢ひ春の川  
春眠といふ淵に落ち乗り過ごす  
こうき

# 早稲田スポーツを応援に行こう！

岡本 周造(昭57年社会学)

早稲田スポーツの定番と言えば「野球」、「ラグビー」、「駅伝」ということになるのだろうか。応援ということになると東京まで行ってということが多い。しかし、詳しく調べてみると意外に関西で大会や定期戦があり、多くの体育各部がやって来ている。また、体育各部を卒業し社会人になっても各競技で活躍している選手もいる。そこで写真部では2012年度限定で早稲田スポーツを写真と文で追ってみた。是非、会場に足を運んで応援していただきたい。

## 頑張れ、高畑！今、なでしこが面白い！

2011年、ア式蹴球部女子（以下、ア女と記す）の



主将としてチームを引っ張った高畑志帆選手。現在はプレナスなでしこリーグの浦和レッズレディースで活躍している。昨年（2012年）、右のセンターバックとして

新人ながらレギュラーを獲得している彼女を高槻と浦和で追った。相手の激しい攻めにも落ち着いて対処し前線にボールを送る安定感は素晴らしい。そんなプレーが評価され見事にリーグの新人賞を獲得した。

受賞の感想を聞いてみると、「新人賞という素晴らしい賞をいただくことができ、大変嬉しく思うとともに感謝の気持ちでいっぱいです。チームとしては、結果を残すことが出来ず私自身力不足を痛感するリーグ戦となりました。今後は更にレベルアップし、チームから必要とされる選手になるべく努力してまいります。そして女子サッカーを更に盛り上げるために熱く激しく戦って行きたいと思います」とのこと。



2年目の今年、なでしこジャパンの合宿に初招集されレベルアップしているのがうかがえる。一昨年のW杯で世界一になり一躍注目された女子サッカー。しかしリーグ戦となるとまだまだ観客動員が必要なのが現状。世界に比べフィジカルで劣る日本のサッカーは細かいパスをつないで攻めるのが特長。声を掛け合って前進する姿はサッカーの原点を見ているようで非常に面白い。なでしこリーグには高畑選手の他に今年リーグに昇格したベガルタ仙台レディースにア女出身の選手が4人在籍している。大阪にはスペランツァFC大阪高槻があり浦和も仙台も大阪に年に一度はやってくる。高畑選手他ア女出身の選手のそしてなでしこリーグの応援を宜しくお願いしたい。

## 伝統校の復活をかけて～ラグビー蹴球部

昨シーズン、関東対抗戦4位。早稲田ラグビーから





すれば決して喜べる成績ではない。大学選手権では2度（12月9日：長居、12月23日：花園）関西での試合があった。対抗戦での不調がウソのように関西の2試合（天理大、大体大）は圧勝。正月2日の準

決勝に挑んだが史上初の選手権4連覇を達成した帝京大に屈した。シーズン終了後に写真部宛にラグビー蹴球部から手紙が届いた。「今シーズンのふがいなさを反省すると共に来シーズンの飛躍に向けた力強い言葉と関西での応援依頼」が記されていた。まもなく夏の菅平合宿を経て対抗戦が開幕する。今シーズンこそは伝統校の復活で全国の校友が正月明けに喜べる試合内容と成績を期待したい。

### 全国4連覇へ～早大高等学院米式蹴球部

高校生アメフトのファイナル、クリスマスボウル。



早大高等学院ベアーズは昨年末、関東の高校としては初の3連覇をかけて関学高等部と対戦した。3連覇へのプレッシャーか、クリスマスボウル出場に向けての関東の数試合、選手たちはガチガチだったという。「先取点を取れば・・・」が現実となりペースをつかんで逃げ切り3連覇を達成。3年生は入学以来、公式戦を43勝無敗1分けと負けなしで早大へ進学した。4連覇がかかった今年のクリスマスボウルは関東での開催。あまり連覇を意識せず着実に毎試合自分たちのプレーを心がければ4連覇も見えてくるのでは。頑張れ！早大高等学院。

### 強いア女の復活へ！～ア式蹴球部女子

ア女には部の目標がある。「全日本（皇后杯）ベスト8」。一昨年、昨年とベスト16まで進出したが2年続けてなでしこリーグの王者、INAC神戸レオネッサに0-1と惜敗。選手たちの印象ではなでしこリーグの王者でも「全く歯が立たない相手ではない」とのこと。また、インカレでは2年ぶり4度目の優勝を狙ったが惜しくもファイナルで日体大に敗れ2位。悔



しいシーズン終了だった。今年のチームは昨年の主力が多く残りかなり期待がもてる。全日本ベスト8とインカレ優勝を大いに期待したい。

# 天保山&渡し船ウォーク

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

天保山”山頂“これが三角点です



登山やハイキングは高い山に登るのが普通ですが、今回は逆に日本一低い山への“登頂”と歴史を感じさせる“渡し船”を計画しました。最高峰は標高で決まり山容も立派なので議論の余地なく決まります。ところが日本一低い山には、人工的な築山も加わってややこしくなっています。

その中で日本一低い山として認められているのは、大阪市港区の天保山(4.5m)です。この山は天保2年(1831年)に安治川を浚渫した土砂を積み上げた20mの築山で、黒船対処の砲台構築で削られたり、地下水の汲み上げで地盤沈下して4.5mとなりました。

2月23日、18人の参加です。JR桜島駅から10分程度で最初の天保山渡しです。川幅は300mで2分もかからず天保山公園に到着。港区と大正区は川と運河に囲まれており、住民の利便のために現在8ヶ所の渡しがあり、年間208万人が利用しているそうです。驚いたのはこれらの渡しは大阪市営で全て無料です。無料の理由は「道路としての扱い」のためとの事です。大阪市も粋な計らいをしています。

小高い丘が天保山と思って登り始めると、途中の平地に三角点は設置されており、いささか拍子抜け。残念ながら天保山は山の形をしていません。ちなみに登山口から頂上までのコースタイムは25秒でした。三角点は多数の“登山者”から守るためか、上面迄埋められて周辺はコンクリートの敷石で嚴重にガードされていました。私が指差しているのが三角点(標高4.5m)です。

こんな天保山を日本一低い山と真面目にアピール

して、山岳会を作って登頂証明書を発行し、さらに山岳救助隊まで用意して遭難救助要請はゼロと笑っている大阪人のお笑いの精神は立派です。登頂証明書は既に5万枚を発行したと聞けば敬服に値します。

次の「なみはや大橋」は尻無川を跨ぐ有料橋で歩行者は無料で通行可能ですが、長さは1,740mで大型船を通すために最高点は海面から45mもあります。恐らく大阪で一番長くて高い人が歩ける橋でしょう。眺めは良くこちらの方が山登りの様に感じました。渡り終えてから見た姿は「天空の回廊」でした。

平坦な市街地の歩行なので距離を稼いで次は千歳渡しです。対岸の先にあるゴールの昭和山を見ながら渡りました。午後1時近くになり空腹を覚えたので、千歳渡しを渡った所にある良く手入れされた綺麗な公園で昼食としました。

昭和山まではあと少し。昭和山は円形の形の良い小山で、最初は前方後円墳の後円部かと思いました。頂上にある説明板によると1970年の万博の時に地下鉄工事で出た土砂を積み上げたとのこと。ダンブカー57万台分の土砂を積み上げて高さは33mです。頂上からは歩いて来たコースがよく見えました。大阪市内の山は地形上の理由で、築山か古墳となるのは仕方ありません。

ゴール後の楽しみである温泉は昭和山の近くの「やまと乃湯」。海風で冷えた体を温めて気持ち良かった。懇親会は沖縄料理の「いちゃりば」。沖縄料理は初めてなので、出て来る料理全てが珍しくて大いに楽しみました。コース設定から懇親会までいつもとは違う楽しい企画でした。時にはこんな企画も面白い。



天空の回廊「なみはや大橋」

# 桜でなくても楽しいお花見でした

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

比叡山と宝ヶ池  
(建物は  
国立京都国際会館)



4月は恒例のお花見です。13日に19人の参加です。今年も爛漫と咲き誇る満開のソメイヨシノを期待していました。計画では宇治川と木津川合流点に延びる背割堤の桜と、同じく時代劇でお馴染みの流れ橋(上津屋橋)です。ところが今回の企画はハプニングの連続でした。

## ハプニングその1：

3月が予想以上に暖かったため、1週間前に桜は散ってしまいました。

## ハプニングその2：

上津屋橋は昨年10月の台風17号で橋板が流されてまだ修理中と判明。流れ橋なので、洪水で橋桁や橋板が簡単に流されてしまいます。

そこで近くの石清水八幡宮と、松花堂弁当の発祥の地である松花堂に変更しました。私は以前に松花堂で、よく手入れされた本物の水琴窟の見事な音色を聞いたことがあります。

## ハプニングその3：

松花堂が修理中で見学できません。

山口幹事が代わりの花を探し、京都宝ヶ池のコバノミツバツツジに予定を急遽変更しました。

まだハプニングは終わらず、予想外の事が起こりました。

## 最後のハプニング：

早朝の淡路島の地震で交通機関が大混乱。

それでもメンバーの皆さんは満員電車を乗り継いで、苦勞しながら集合地の地下鉄北大路駅にやってきました。遅れる人には山口幹事が携帯で、途中で合流する様に指示しなんとか出発。

歩き始めるとツバメが商店街の軒に巣の用意をしていました。春本番です。府立植物園横の賀茂川左岸のベニシダレザクラは、ソメイヨシノより開花が遅いのでまだ沢山咲いており十分楽しめました。

松ヶ崎駅で合流するメンバーを待つ間に、五山送り火の「妙」の火床を眺めていました。ここから宝ヶ池への坂道を歩きます。比叡山をバックにした見事な景色の宝ヶ池を眺めながら昼食。食事が終わる頃に最後のメンバーが合流。彼は途中で弁当を買えないままやって来たとのこと。残念ながら我々は昼食が終わっているの、分けてあげる弁当がなくお気の毒。

全員揃ったので安心して、コバノミツバツツジのある東山(186m)に登りました。登るに従ってピンク色が混じった上品な薄紫色のコバノミツバツツジが次々と現れます。ソメイヨシノは豪華さを演出するために人が見栄えよく植えます。それに対してこの花は野生なので、自然に溶け込んで見事に咲いていました。頂上付近では密生した花が頭上に広がり綺麗な花のドームの様でした。桜でなくても楽しいお花見でした。写真を撮りましたが、カラーでないためよく見えないのが残念です。ぜひ本物の花を見に来て下さい。関西では阪神タイガースが優勝祈願をする廣田神社が有名ですが、こちらの方がはるかに見事です。充分楽しんで下り始めたらウォーキングシューズを履いていたため、緩い傾斜なのに足が靴の中で動いて踏ん張りが利かず、歩き難いこと甚だしい。山登りでの登山靴の効果を再認識しました。



花に囲まれて(背景は全てコバノミツバツツジです)

同じ道を松ヶ崎駅まで戻ってJR京都駅に行き、懇親会はいつもの見聞録。ハプニングと予想外に綺麗だったコバノミツバツツジのお花見を肴に、乾いた喉を潤しました。

# ～皆で歌う～ 歌声サロン in シーフアー

歌声サロン部会長 小泉 じゅん子(昭47年文)

2010年9月から奇数月の第2火曜、15時半～17時半、梅田ターミナルビル17階「シーファー」(大阪新阪急ホテル直営)で開催中。全関西アコーディオン協会会長、杉村寿治氏のアコーディオン伴奏で、童謡・唱歌・懐メロ……。時には話題曲も取り入れて、皆さまと一緒に歌っています。ソングリードとトークは私、小泉じゅん子です。1800円で1ドリンク(アルコールも可)付き。



お陰様で毎回沢山の方々にお越し頂いていますが、大阪早稲田倶楽部の方が少ないのが残念です。ぜひ一度ご参加下さいませ。リクエストも取り入れていきます。そしてアフターには、そのまま「シーファー」で懇親会を開いています。

懇親会にお残り頂けたら、更に1ドリンクのサービスがあり、他のご飲食も当日は特別にサービスして頂きますので、飲んで、食べて、ワイワイ喋って、おおよそ一人1500円から2000円です。

心地良いアコーディオンの調べに乗って、大きな声で昔懐かしい歌を歌い、ご縁を繋げて楽しいひと時、きっと皆さま、より一層お元気になっていただけたと思います。皆さまのご参加を心からお待ちしています。今回は、9月10日(火)です。

## アラカルト

### 自伝を出版



### 「裸一貫で挑戦した年商20億円」

苦学して印刷会社を興し、成功を取めるにいたった道のりを谷村勇さん(79歳・平3年システム科学研究所修了)が自伝「裸一貫で挑戦した年商20億円」にまとめ、出版した。

谷村さんは、奈良・吉野の出身。中学校を出て大阪市内の印刷所に就職し、夜は定時制高校に通って研鑽。22歳で独立したあとも奈良県立短大(現・奈良県立大)の夜間部に学んだ。テレホンカードをオリジナルにデザインする仕事を51歳の時に手がけて大当たり。当時、従業員25人ながら年商20億円を上げるにまで成長した。

「自分で道を切り拓いてきました。失敗を恐れず、多くの人に会い、人一倍努力してきたつもりです。負けてはおれん、何くその精神で走ってきた結果です」と振り返る。

「人生いつまでも勉強」と意欲は衰えず、54歳で早大システム科学研究所に入学し、稲門の仲間入り。64歳の折にはテレホンカード事業を進めるためブラジル・サンパウロへ進出したこともあったが、1年で撤退。「順風満帆ではないですよ。山あり谷あり。でも楽しく充実した人生です。そして今、早稲田倶楽部のみなさんと親しくお付き合いいただき、最高です」。自伝は創英社/三省堂書店刊(1,600円+税)。



## 和田総合会計事務所

株式会社 豊能計算センター

「経営者と共に考える」という基本スタンスで日々努力しています。

多様化するご要望に万全の体制でサポートいたします。

所長 和田 浩孝 (平成元年 教育学部卒)

〒560-0021 豊中市本町7-4-18 和田ビル TEL:06(6849)5631 FAX:06(6848)1337 mail:hiro-m.wada@tkcnf.or.jp

## ワセジョ立ち上がる

部会長／大塚 紹子(平1年文)

幹事／白原 早織(平11年人間科学)

奥野 陽子(平18年人間科学)

倶楽部の新しい部会「Osaka Waseda Girls」(大阪早稲女会)が今年5月、結成されました。バンカラな稲門はかつては女性は少ない存在でしたが、今はキャンパスはともすれば女子学生の方が多いのではと思うほど。大阪早稲田倶楽部でも、近年は女性パワーが炸裂。新時代を見据えてこの部会の立ち上げとなった次第です。

会員同士の親睦を深めるとともに、ミニセミナーなどを開催して早稲女(ワセジョ)ここにありと楽しく頑張るのが趣旨です。倶楽部の女性会員は、すべて会員です。男性だけど入りたいという方はご相談に応じます。

イベントを基本に考えており、「浴衣で行こう!花火大会」(8月)とか、校友でもあるNHK大阪放送

局の女性アナウンサーを招いてのアナウンス講座(10月)、さらには「恋愛上手な早稲女になるために」講座(11月)、校友のプロレスラーによる「女子プロレスの魅力」講座(新春)とか。

ほかに盆栽やウオーキング、ハワイアンフラ。「女性と政治」「女性と労務」といったお硬い内容も。土曜か日曜の11時から12時までやって、そのあとランチしたり、お茶したり、スイーツしたりというように。会費は参加費のみです。さあ、早稲女のみなさん、早稲女のワ(輪・和・話)でつながっていきましょう!

## アラカルト!! 日中ともに語り合おう

山田 直(平12年商)

4月26日、中国江蘇省南京市出身の林毅氏を招いてWフォーラムが開催された。テーマは「私と日本」。前半は林氏の日本の大学に留学した経緯、その当時の1日10時間勤務という壮絶なアルバイト生活、祖国に戻らず日本の機械メーカーに就職した覚悟などなど、飛行機が怖くて海外経験は新婚旅行の一度きりの私にとっては想像を絶する内容であった。とにかく、外国の方から「日本で生活する中で、日本のことを好きになった」という声を聞くことは、日本人として素直に喜ばしいことである。

後半からは、現在の日中間の懸案問題についての意見交換。領土をめぐる問題、歴史認識問題、環境問題、中国共産党一党独裁体制など、某テレビ局の討論番組さながらの白熱した議論が展開された。経済や文化の交流に関しては話がかみ合い、「これからも良い関係を」と言えた間柄が、主権や歴史に関することでは互いの主張が真っ向からぶつかることが多々あった。それでも、本音に近い意見を主張し合えたことで、互いが納得できるまでには至らなくても、異なる国の考え方に触れられたことは大変勉強になった。

また、中国共産党による一党独裁体制、経済格差、情報統制など中国が抱える矛盾を当の中国人である林氏が

理解し、改善すべき課題と捉えていることは意外な印象を受けた。さらに、若い世代ならいざ知らず、中国に対する贖罪意識が強いと思われた先輩方まで「最近の中国はけしからん」と言い放ったことには驚いた。やはり、既存メディアやインターネット情報を鵜呑みにするのではなく、生の人間の声を聞くことは、見識を広げ、情報感覚を磨く最善の方法であると認識した次第である。

以前に読んだ本の中で「利害の一致ばかりでなく対立の存在こそ、人々をして自己の情念を抑制させ、他者を顧慮させる」という昔の思想家の政治観が紹介されていた。隣国同士が蜜月関係を永遠に続けることは不可能である。本音で語り合い、分かり合える外国はなかなか見当たらない。だからこそ、外国の方との交流は面白いと思えた今回のWフォーラムであった。

最後に、勉強不足で生意気な質問に対しても真摯に向き合ってくれた、林毅氏に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 平成25年度役員・理事名簿

会長	人見 亨	(昭45年理工)	副理事長	島田 隆史	(昭54年政経)
理事長	野村 公平	(昭47年法)	副理事長	小林 一則	(昭55年政経)
副理事長	竹田 雅幸	(昭47年商)	監事	岩崎 勇作	(昭47年商)
副理事長	稲田 増光	(昭47年政経)	監事	田村 昌之	(昭54年法)
副理事長	小泉じゅん子	(昭47年文)	事務局長	和田 浩孝	(平1年教育)
副理事長	熊澤 一郎	(昭51年商)	会計	酒井 敏行	(平11年人科)

新任理事  
(任期2年)  
37名

楠本 光智	(昭30商)	佐藤 光宏	(昭53理工)
横山 昌弘	(昭32法)	小林 一則	(昭55政経)
野中 稔	(昭36理工)	田中 啓一朗	(昭55社会学)
山原 一晃	(昭37理工)	稲部 勝博	(昭60商)
大塚 征慈郎	(昭38政経)	森本 宏	(昭60法)
野中 民蔵	(昭40法)	和田 浩孝	(平1教育)
津野 英男	(昭40政経)	中村 勇一	(平1文)
森本 充威	(昭40商)	大西 平一	(平4政経)
河田 一彦	(昭42商)	古田 哲也	(平4政経)
揚野 寛	(昭43政経)	梅原 秀昭	(平5法)
小林 哲也	(昭43政経)	前田 修	(平6政経)
廣末 雅昭	(昭43理工)	酒井 敏行	(平11人科)
田尾 秀寛	(昭44商)	瀬川 隆行	(平11商)
向井 利明	(昭44政経)	藤本 竜太	(平12教育)
今澤 哲朗	(昭45政経)	奥野 陽子	(平18人科)
人見 亨	(昭45理工)		
山澤 俱和	(昭46法)		
西田 隆郎	(昭47商)		
角 和夫	(昭48政経)		
藤原 充	(昭51商)		
熊澤 一郎	(昭51商)		
小西 康仁	(昭52商)		

## 平成25年度役員・理事名簿

現任理事  
(任期1年)  
34名

高野 泰明 (昭29法)
藤原 和 (昭33政経)
田中 宏 (昭33文)
松尾 博人 (昭33法)
片山 善夫 (昭35法)
北原 仁巳 (昭36法)
大内 英男 (昭36商)
山田 純子 (昭38理工)
森 一貫 (昭40政経)
勝山 清 (昭42商)
吉川 一三 (昭45商)
藤井 俊男 (昭45法)
関 邦彦 (昭46法)
野村 公平 (昭47法)
竹田 雅幸 (昭47商)
稲田 増光 (昭47政経)
小泉 じゅん子 (昭47文)
木下 斉 (昭48商)
山口 守 (昭51文)
豊島 恵子 (昭52法)
尾田 沙智乎 (昭52商)

中西 克昌 (昭53社学)
谷崎 整史 (昭53政経)
島田 隆史 (昭54政経)
相間 靖三 (昭55理工)
費川 芳郎 (昭57教育)
三木 基司 (昭61教育)
滋野 雅之 (昭63理工)
種田 ゆみこ (平1商)
大塚 紹子 (平1文)
関 寛之 (平8理工)
深井 光雄 (平15理工)
八田 禅 (平17文)
浅井 佳穂 (平17教育)

住むほどに そろ、品と質。

分譲マンション &lt;ジオ&gt;

Geo  
<ジオ>

阪急不動産

〒530-0017 大阪市北区角田町1番1号 東阪急ビルディング内

詳しくは  

お問い合わせ先：ジオラブ倶楽部事務局

TEL：0120-8923-01

受付時間：午前10時～午後6時 水曜・木曜(定休)

# シベリアの凍土に眠る英霊は

小林 一則(昭55年政経)

秋の紅葉の季節ともなると京都・嵐山の天龍寺界限は大にぎわいだ。この天龍寺の塔頭の松巖寺で、毎年10月の体育の日に、とある法要が営まれている。第二次大戦後、シベリアへ抑留された人たちによる亡き戦友の慰霊祭だ。

中国東北部の旧満州で終戦を迎え、列車で帰国の途に向かうはずが、日本海とは反対の旧ソ連へ。零下何十度という厳寒、極寒の地で強制労働に従事させられた抑留者はその数60万人にも上った。ラーゲリと呼ばれる収容所で食事はごくわずかの黒パンと具のほとんど見ることのできないスープのみ。飢えと寒さに苦し

しみ、森林伐採や道路普請などの重労働に駆り出された。映画やドラマにもなった小説「不毛地帯」の主人公の壱岐正の生き様がそうだ。小説とはいえ、シベリア抑留の描写は実態そのものだ。

栄養失調に寒さ、重労働で疲弊しきった抑留者は次々と倒れ、帰国を果たせないまま命を落としたのは5万人とも6万人ともされている。帰還の港は舞鶴港。岸壁で今か今かと待ちわびた母らの思いはいかばかりのものだったろう。抑留者の最後の帰国は、昭和31年(1956)。抑留から10年を超える長きにわたっている。

帰国した抑留者が昭和46年に松巖寺に慰霊碑を建立し、以来、このお寺で慰霊祭を行っている。ヤゴダ会という戦友会によるものだ。シベリアで飢えに苦しむなか、強制労働に出た森でグミのような小さな赤い実を口にし、ひとときの清涼をかち、生きて日本に帰るんだと自ら奮い立たせることができたという。その実がヤゴダで、戦友会にはその名を冠した。

関西と関東をそれぞれ拠点とし、関西では松巖寺で体育の日に、関東では11月3日の文化の日に東京の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で法要を営んでいる。シベリアへの墓参も重ねており、私も20年前、読売新聞記者とし

て同行取材したご縁がある。

抑留者らは戦後68年を経て、若い人でも80歳代後半。過酷な抑留生活が身体をむしばみ、同年代の人に比べて体調がすぐれない人が従前より多い。無念の死をとげた戦友の弔いに年に一度はと、駆けつける人がほとんどだが、鬼籍に入る人も続いている。

そのような中で、遺族が参加してくれるようになり、先細りでいずれはと心配されていた慰霊祭も今後とも継続して開催されることに関係者も安堵している。

幹事の池上弘さんは「仲間の霊を弔うのは帰国したわれわれの責務です。理不尽なシベリア抑留で多くの



松巖寺の境内に建つシベリア抑留死者の慰霊碑

日本人が苦しめ、翻弄され、無念の命を落としたということを忘れず伝えていきたい。その意味でもご遺族の方々が参加して下さり、法要のお手伝いもいただけることに感謝しています。また一人でも多くの方にシベリア抑留の悲劇を知っていただくことを願っています」と話している。

昨年10月の法要では、霊前に大福餅がたくさん上がった。大福をたらふく食べてみたい。抑留されたラーゲリで、そんな夢を見て唾を飲み込むのが最高の楽しみだったとも聞いた。それを果たせず、凍土の下に眠ってしまった若き仲間たち。天国で甘い大福を味わっていただけたらどうか。

## アッと、とんでアートを

揚野 寛(昭43年政経)

小生(揚野)が子供のころに描いた絵です



本号で拙作を表紙に掲載していただけることから、どうしていま、現代アートに取り組むに至ったのか、その経緯を記しました。

60数年前、画集や絵本のほとんどはモノクロかせいぜい2色で、鉛筆からようやくクレヨンになったあの頃、地べたに一心不乱に桃太郎を描いていたお絵かき少年でした。土佐の高知の小学校に入った昭和27年、戦前に渡欧しマチスに師事して戦後高知県美術展覧会を創設、理事長をされた中村博画伯が主宰する絵画教室で、大人に混じって神妙に果実や花などの静物を油絵で描いておりました。

これは決して今の英才教育などでなく、前年調印された講和条約が発効して、日本はマッカーサーの進駐軍の占領から主権を回復して独立、朝鮮戦争特需による好景気を反映した先行き明るい時代の雰囲気の中、がんぼうたれ(やんちゃ坊主の方言)の息子の矯正には好きなことをさせとけば、という親父の意図だったのでしょう。もっぱら家で描くのは静物などでなく、観た映画の印象的シーンの再現でしたが、先生ご夫妻には可愛いがっていただき小学6年で高知を離れるまでに250枚ほどの絵を描きため保存しておりました。その後も文通を続け、昭和55年に先生が亡くなられたのを知り高知に弔問にも伺いました。

高知をあとにしてから、絵を描くことが途切れてアッとという間の45年。歩いて5分の隣り、宝塚・逆瀬川在住の現代アーティストの元永定正さんから「新聞社辞めるんなら、今度駅前に1軒家を買って教え子を集めた現代アートの研究会を開くんやけど見にきいへんか」と軽く誘われ入門、第三の人生に備えて現代アートの道に踏み込むことになりましたが、45年の空白は大きく、現代アートって何?と何をどう描いたらいい

いのか何の指導もなく悪戦苦闘。

「人の真似したらあかん。一寸先は光やで」が教えて、毎月作品を持参し「これはええ、これはあかん」との講評の後は、奥さん手作りの料理とみんなで持ち寄った肴と酒で宴会、たまにはカラオケ。まさにこれがこれまで続いた最大の要因なのかもしれませんが、漸く辿り着いた所がこの表紙の作品です。

絵を再開してから、高知県香美市美術館で中村博先生の回顧展(平成18年)に教え子の作品を並べる企画があり、描きためた中から出品したら、なんとといっても60年も前のことですから、順番はお嬢さんが一番弟子で私が二番になっていました。その後、60年前の昔のこどもと今のこどもどこか同じでどこか違うというテーマの「こどもの絵展」が鎌倉と神戸で開かれ、早稲田倶楽部の方々にもご笑覧いただきました。

吉原製油社長の吉原治良氏が主宰し、戦後の日本の美術活動の中で、唯一海外から今でも高く評価されている「具体」メンバーの元永師は、やっと30歳代後半に世に出た遅咲きでしたが、平成23年、89歳直前で亡くなる前の1年間に100点近くのみずみずしい作品を制作して「死ぬまで生きる」との自分の言葉を実践されたのは凄いことでした。平成24年の「美術手帳」6月号の「日本近代美術の傑作150」特集では、横山大観、佐伯祐三、岡本太郎、梅原龍三郎、東山魁夷の巨匠らと並んで選ばれたのは弟子の端くれとして誇らしいことです。

弟子達による「グループでないグループ展」は30回記念の今回で現代アート研究会も解散し、不入りを覚悟しても金沢21世紀美術館で掉尾を飾ろうと今年1月末から開催しました。地元関西でも2~300名ばかりの来場者が、初日に地元紙の北陸新聞や中日新聞に取材されたのと北原仁巳、野中民蔵両先輩が食べ歩き会のしがらみで冬の金沢までお運びいただいたお蔭で1300名の新記録となり、(実は地元市民と美術館の日ごろのコミュニケーションのお蔭なのですが)現代アート研究会も未亡人の中辻悦子さんが引継いで再スタートとなりました。

三浦雄一郎さんの80歳でのエベレストに比べられないが、絵心と少しの気力と体力があれば、私も生きている限り継続しようと思っていますところですよ。

# 早稲田大学校友会大阪府支部



## 校友会とは

早稲田大学の第1回の卒業生が出た翌年の1885年(明治18年)に発足し、今年で128年になるOB会です。都道府県の支部や地域、職域の稲門会、体育各部やゼミ、サークルの稲門会などのネットワークがあります。大学を卒業すると校友会員となり、国内だけでなく海外にも及び、59万人に上ります。在学生への奨学金や、大学への寄付講座開設などで支援しているほか、校友の同窓会活動を応援したり、本学のホームカミングデーに合わせて稲門祭を開催するなどの活動を行っています。

大阪府支部は、府内に在住、在職する卒業生全員が会員で、約8,000人を数えます。1920年(大正9年)に誕生した大阪早稲田倶楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。事務局は大阪早稲田倶楽部内に置き、校友会本部からの組織活動強化費のほか、みなさんからいただいている支部会費(年間2,000円=2013年11月より)で運営しています。

## 役員

- 支部長 角 和夫(昭48年政経)
- 副支部長 向井 利明(昭44年政経)、人見 亨(昭45年理工)
- 福井 澄郎(昭45年政経)、吉川 一三(昭45年商)
- 西田 隆郎(昭47年商)
- 幹事長 小林 一則(昭55年政経)

## 定期総会

- 日時:2013年11月15日(金)
- 会場:大阪新阪急ホテル(大阪市北区)
- 講演:鎌田 薫(早稲田大学総長)ほか
- 公演:早稲田摂陵高OG「みつばち会」吹奏楽演奏

## 第4回 校友会大阪府支部ゴルフ大会

- 日時:2013年9月7日(土)
- 場所:読売ゴルフ(西宮市)  
カントリークラブ/ウエストコース
- 組数:25組
- 競技:ダブルペリア方式
- プレー費:21,000円(カントリークラブ)  
17,000円(ウエストコース)
- 会費:5,000円(賞品、会食代)  
※女性と1998年以降卒業の方は3,000円
- 申し込み:8月20日までに校友会大阪府支部事務局  
(大阪早稲田倶楽部内)へ

## 商議員・代議員

大学本部からの諮問審議、大学への建議を行う商議員は全体で1000人。代議員は校友会の最高議決機関で1200人。いずれも都道府県支部や年次稲門会、職員稲門会などからの推薦を受けて選出されます。任期は4年。2012年6月に改選されました。大阪府支部選出の商議員、代議員は次のみなさん。

- ◆ 商議員 (16人)
  - 松尾 博人(昭33年法)
  - 山原 一晃(昭37年理工)
  - 大塚征慈郎(昭38年政経)
  - 河田 一彦(昭42年商)
  - 向井 利明(昭44年政経)
  - 人見 亨(昭45年理工)
  - 福井 澄郎(昭45年政経)
  - 吉川 一三(昭45年商)
  - 山澤 俱和(昭46年政経)
  - 稲田 増光(昭47年政経)
  - 岩崎 勇作(昭47年商)
  - 竹田 雅幸(昭47年商)
  - 西田 隆郎(昭47年商)
  - 野村 公平(昭47年法)
  - 熊澤 一郎(昭51年商)
  - 田村 昌之(昭54年法)
- ◆ 代議員 (15人)
  - 野中 民蔵(昭40年法)
  - 森本 充威(昭40年商)
  - 揚野 寛(昭43年政経)
  - 小泉じゅん子(昭47年文)
  - 尾下 千明(昭47年法)
  - 尾田沙智乎(昭52年商)
  - 豊島 恵子(昭52年法)
  - 中西 克昌(昭54年社学)
  - 相間 靖三(昭55年理工)
  - 小林 一則(昭55年政経)
  - 吉田 治(昭60年法)
  - 種田ゆみこ(平元年商)
  - 和田 浩孝(平元年教)
  - 大西 平一(平4年政経)
  - 生島 啓二(平5商)



北浜法律事務所

KITAHAMA PARTNERS

弁護士 森本 宏 (昭和60年法)

<http://www.kitahama.or.jp>

北浜法律事務所・外国法共同事業

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16大阪証券取引所ビル

TEL.06-6202-1088(代) FAX.06-6202-1080

弁護士法人北浜法律事務所東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー14F

TEL.03-5219-5151(代) FAX.03-5219-5155

弁護士法人北浜法律事務所福岡事務所

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティビジネスセンタービル4F

TEL.092-263-9990(代) FAX.092-263-9991

## なぜ俳句は面白いのか

「露の木戸押して単身赴任せり」。平成7年9月1日に放映されたNHK俳壇の特選句だ。倶楽部の俳句会「稲雲会」のお世話を長らく続けてこられた田中宏さん（昭33年文）の句で、全国から4、5万句寄せられる中から句界の第一人者である稲畑汀子さんが最優秀に選んだ。

田中さんは、倶楽部の句会が結成された昭和43年に誘われて入会。句づくりは初めてだったが、次第にどっぷりつかって40有余年。「5・7・5の17文字におさめるのが実に難しい」と言いながら、毎月開催の倶楽部の句会はこの6月で530回を数えた。

花鳥風月だけでなく何気ない日々の暮らしや出来事なども巧みにとらえ、世界一短いフレーズで凝縮して表現する俳句。「飾り言葉や無駄な言葉、そして感情を排して、客観的に見てつくる。難しいけれど、だからこそ面白い」。

大学時代は山歩きや寺巡りに精を出し、三回生では第三回早稲田祭実行委員長を務め、芯に据えた民芸の「アンネの日記」公演は大隈講堂が超満員となった。卒業後は仏教図像学を学んだ。聞き慣れない学問だ

が、如来や菩薩など仏像の姿や仕草を研究する学問で、主だった寺のほとんどは訪ね、秘仏にも目を凝らしてきた。日本の伝統を見つめることが俳句にも共通するところがあるようで、「四季をはじめ日本の美しさを知ることができた」としみじみと語る。

俳句は、山の季語ひとつ取っても、春夏秋冬で「山笑う」「山滴（したた）る」「山装う」「山眠る」と、それだけで情景が浮かびそうな豊かな語彙がたくさんある。「俳句は奥深く、味わい深いものです。みなさんもぜひ一緒にどうぞ」と呼びかけている。



## 編集後記

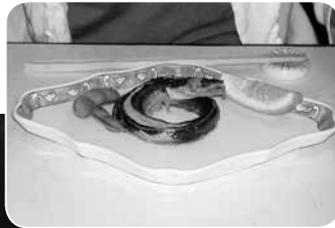
年に一度の倶楽部誌をお届けします。今年も様々な原稿を寄せてくださり、感謝申し上げます。5月の定時総会では開校100年を迎えた宝塚音楽学校の岩崎校長に講演をしていただきましたが、大阪早稲田倶楽部も大正9年（1920年）の創立から93年になります。100周年まで指折り数えるほどです。稲門の旗のもと、集まり散じて人は変われど仰ぐは同じきです。校友だけでなく早稲田ファンになっていただいた人も含めて会員は660人を超えています。会員全員が一堂にというのはなかなか難しいでしょうが、100周年記念大会はこぞって盛大なものにと願っております。

2011年度は写真部会に歌声サロン、関西演劇文化研究会と新しい部会が生まれ、活発な活動が続いています。他の部会でも様々なイベントが人気です。食べ歩き部会では、今号で紹介した穴子編が過去最多の盛況だったとか。ハイキングでも次第に参加者が増えているとのこと。そんな中、新たに立ち上がったワセジョの会は早くも注目を浴びています。他の部会から、「コラボしませんか」との誘いが相次いでいます。女子プロレス講座やハワイアンフラなど楽しそうですね。老いも若きも先輩も後輩も倶楽部のみなさんの交流がいつそう活発になって親睦が深まることでしょう。来年の年誌でたっぷりご紹介できることを楽しみにしています。 (広報委員会)

# 穴子ってこんなに旨かったのか

広報委員会

これがとろとろにやわらかい穴子野崎焼き



珍味の穴子刺身を手にする案内人の松井利行さん（平5年教育）

寿司屋で穴子の焼いたにおいが漂ってくると、「こっちも焼きアナ」と声をかけてしまう。蒸しアナもいける。で、穴子のほかの食べ方は？ うーん、思いつきません。

今はレシピがネットなどで簡単に手に入るから、肉でも魚でも料理しようと思えばそう難しくはないのかもしれない。（私はできないんだけど）。ただ、穴子はどうだろう。あのニユルツとしたのは、さばけまい。開いたのは売ってはいるが、焼く？ 煮る？ 手間かけてするほどのものでもなく、出来あいのものを買ってこか、かな。

だから食べ歩きで穴子だと聞いて一も二も無く手を上げた。私みたいな方が多かったのか、6月15日の堺の料理店「仁志乃」での会には満員札止めの44人が参加した。食べ歩きでは最多で、店に入りきれないので、お断りした方が何人もいたとか。

そんな方の分まで心して食さねば、とはじめは殊勝

にも思っていたが、穴子昆布メ手毬寿司に穴子ホルモン煮付、穴子豆乳豆腐に穴子印籠煮、骨煎餅に八幡巻。これでもか、これでもかと出てくる穴子に穴子。これ何？と言ってるしりから次から次へ。

「わぁ珍しい。お刺身もあるわ」。あちこちで声が上がった。ポン酢で食べる穴子へぎ造りと、ちょっとあぶったのを梅肉で食す伝助穴子焼き霜。やわらかいの歯ごたえがあって、何より甘〜い。

圧巻は穴子野崎焼き。丸ごと一匹、尾頭付きでとぐるを巻いて皿の上にデン。やわらかい身。骨は抜いてるのと思うぐらい。噛まなくてももぐもぐしているだけでとろけてしまう。「頭もメッチャやわらかい」。隣の声を耳にして、端に寄せていた頭に箸をつけた。顎（あご）というのか、ほお骨というのか、何か歯ごたえがありそうなものだが、ない。も一度噛んでみても、ない。

店主の西野保孝さんによると、114℃の大阪の菜種油で5時間かけてじっくり揚げ、配膳の直前に外がかりっとするよう240℃で3分焼き上げるという。やぁ、えらい手間です。おいしいはずですわ。それに114℃という半端な温度がまたいい。我を忘れて堪能しました。ご一緒できなかった方ゴメンナサイ。

最初の献立には添え物のわさびやネギまで入れると45品並んでいた。「こんなにようけ食べられへんわ」と言ってた愚妻は、何が何が。私より先に完食、完食でした。めでたし、めでたし。

## 株式会社 財産プランニング研究所

不動産の鑑定評価、  
コンサルティング

代表取締役・不動産鑑定士

熊澤 一郎 昭51年 商

〒560-0011 豊中市上野西1丁目10番7号 TEL.06-6854-0002 FAX.06-6849-3355  
E-MAIL: i-kumazawa@z-plan.jpn.com

大阪事務所

〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目5番5号 大阪平和ビル6階  
TEL.06-6229-0050 FAX.06-6229-0051

# 収支決算書

(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入の部		
会費		7,847,390
寄付金		120,000
出版協力金		569,790
事業収入		2,216,620
雑収入		398,427
会員名簿収入		0
基金取り崩し収入		0
当期収入合計		11,152,227
支出の部		
事業費	事業費	2,523,601
	印刷費	1,067,577
	会計名簿	792,295
	小計	4,383,473
経費	給料・諸手当	2,760,077
	家賃・共益費	1,877,155
	通信費	521,643
	消耗品費	848,377
	振替手数料	19,925
	慶弔接待費	58,925
	雑費	152,634
	予備費	0
	小計	6,238,736
	備品購入支出	
当期支出合計		10,622,209
当期収支差額		530,018
前期繰越額		9,447,890
次期繰越額		9,977,908

(単位：円)

# 倶楽部活動実績・計画 ◆◆◆

## 2012年度活動実績

### 1. 倶楽部財政黒字化の定着化

事務合理化の積極的推進＝月次発送資料のメール配信（会員645人のうち420人がメール利用）ほか。次年度に53万円の繰越達成

### 2. 早稲田倶楽部祭の再開

12年4月7日（土）に開催。玉造稻荷神社で理事会、新人歓迎会と同時開催し、終了後に大阪城公園内の「早稲田の森」を見学した。参加56人

### 3. ホームページの活用

ホームページからの入会者の対応＝倶楽部役員とカレーランチで懇談。12年度は19名。コンテンツ更新のタイムリーな更新。ツイッター、ブログの運用開始。各種行事案内等の連絡・応募・出欠確認

### 4. 校友会支部活動との連携

校友会支部主催の文楽鑑賞会への参加（13年1月12日 参加80人）  
校友会支部と共催の新年会（13年1月12日 参加88人）

### 5. 部会活動

- ① 関西演劇文化研究会の活動充実
- ② 青年部の活動強化
- ③ 写真部の作品発表
- ④ クラシック音楽鑑賞会の開催 etc

## 2013年度活動計画

1. 倶楽部財政健全化の維持
2. 会員の増強による会費収入のアップ
3. 校友会支部行事との連携強化
4. 広報担当理事の選任
5. 新入会員の追補および修正版名簿の作成ルーチン化
6. ホームページの拡充
7. サイレント会員のアクティブ化
8. 新人歓迎会の年2回開催（4月、10月）
9. 新規部会の本格的活動開始
10. 青年部活動の活性化

## 大阪早稲田倶楽部

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35

大阪新阪急ホテル3階

TEL: 06(6377)2002

FAX: 06(6377)2003

URL: <http://www.osakawaseda.jp>

mail: 125@osakawaseda.jp

倶楽部室開館時間：月～金（祝日、年末年始を除く）

11:00～18:00

編集／大阪早稲田倶楽部 広報委員会

印刷／大阪読売サービス株式会社

宝塚  
歌劇

阪急阪神東宝グループ

幕が上がる、夢がはじまる。

TAKARAZUKA

Revue



©宝塚歌劇団

## 宝塚大劇場

- 阪急宝塚駅下車
  - お問い合わせ TEL.0570-00-5100
- ※一部の携帯電話、PHS、IP電話などからはご利用いただけません  
(営業時間/10:00~17:00 水曜定休)

## 東京宝塚劇場

- JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車
  - お問い合わせ TEL.03-5251-2001
- (営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

【宝塚歌劇公式ホームページ】<http://kageki.hankyu.co.jp/> / 【宝塚歌劇公式携帯サイト **モバイルカラオケ**】<http://takarazuka.tw/>

